

基本目的 I 安全と環境

「危機対応能力が高く 良好な生活環境で暮らせる 安全安心なまち」

◆ 0 1 防災

施策目的 防災意識や危機対応能力を高め、
自助・共助・公助が一体となった災害に強いまちになる

◆ 0 2 防犯

施策目的 地域と市が連携して、防犯に取り組む安全安心なまちになる

◆ 0 3 自然環境

施策目的 人と環境にやさしい快適な生活が送れるまちになる

◆ 0 4 ごみ・資源

施策目的 ごみを減らして資源を生かす循環型のまちになる

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	1	重要事業	○	総合戦略	○	担当部署	安全安心課 危機管理・国土強靱化係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)	
9・1・4	防災関係			37,955千円	40,763千円	38,956千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶ 01_防災意識や危機対応力を高め、自助・共助・公助が一体となった災害に強いまちになる
施策の方向	▶ 1_防災意識の向上による防災組織の育成
	▶ 8_国土強靱化計画を踏まえた備蓄の確保

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自助・共助・公助が一体となり、防災意識や危機管理対応力の高い災害に強いまちづくりを推進する。 ・ 大規模自然災害に備えるため、事前防災・減災と迅速な復旧に資する施策を、まちづくり政策や産業政策も含めた総合的な取り組みとして計画的に実施し、強靱な国づくり・地域づくりを推進する。
令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
<p>①防災関係事業【重要事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災士が地域の自主防災の活性化を支援し、安全・安心なまちづくりに寄与することを側面的に支援していく。 ・ 災害に備え、必要な備蓄品等を購入し、防災体制の充実を図る。 ・ 防災情報伝達システムの運用により、情報伝達手段の多様化を図る。 ・ 大規模地震時における出火防止を目的に、感震ブレイカーの普及促進を図る。 ・ 浸水想定区域の追加及び災害対策基本法改正による避難情報の変更等を踏まえて、ハザードブックの更新を図る。 ・ 避難行動要支援者の円滑かつ迅速な避難を図るために、個別避難計画を作成する。 <p>②国土強靱化地域計画推進事業【重要事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民と事業者、行政による協力体制を構築していく。 	

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
事業 スケジュール		<p>①防災関係事業【重】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災士連絡会補助金 ・ 備蓄食料、備蓄消耗品等の購入 ・ 防災情報伝達システムの運用 ・ 感震ブレイカー等設置費補助 ・ ハザードブック更新【新】 ・ 個別避難計画作成【新】 <p>②国土強靱化地域計画推進事業【重】</p>	<p>①防災関係事業【重】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災士連絡会補助金 ・ 備蓄食料、備蓄消耗品等の購入 ・ 防災情報伝達システムの運用 ・ 感震ブレイカー等設置費補助 ・ 地域防災計画改訂 ・ 個別避難計画作成 <p>②国土強靱化地域計画推進事業【重】</p>	<p>①防災関係事業【重】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災士連絡会補助金 ・ 備蓄食料、備蓄消耗品等の購入 ・ 防災情報伝達システムの運用 ・ 感震ブレイカー等設置費補助 ・ 個別避難計画作成 <p>②国土強靱化地域計画推進事業【重】</p>	
	事業費	40,763	38,420	30,742	
	財源	国庫	5,010	0	0
		県費	0	0	0
		市債	0	0	0
その他		4,191	4,191	4,191	
一般財源	31,562	34,229	26,551		

【関連する指標】

総合計画指標	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
自主防災組織の組織率		92.42	目標値	92.42	93.93	95.45	98.48	100
		単位：%	実績値	92.42	93.93			
			目標値					
			単位：	実績値				
			目標値					
			単位：	実績値				
			目標値					
			単位：	実績値				

【令和4年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和4年度予算額	40,763千円	令和4年度決算額	38,956千円
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	■防災士数（新規取得者） 内訳 令和2年度：6人 令和3年度：7人 令和4年度：5人 ■備蓄食料数 内訳 令和2年度：104,706食 令和3年度：125,264食 令和4年度：143,955食 ■情報伝達手段の多様化を図る 令和2年度：たてばやし防災情報伝達システム工事・運用（安全安心メール登録者数 7,086件） 令和3年度：たてばやし防災情報伝達システム運用（防災情報伝達システム登録者数 9,967件） 令和4年度：たてばやし防災情報伝達システム運用（防災情報伝達システム登録者数 10,303件） ※R3.3.15から防災情報伝達システム（@インフォカナル）に移行 ■感震ブレーカー等設置費補助 内訳 令和2年度：32件、1,244千円 令和3年度：22件、805千円 令和4年度：8件、240千円 ■ハザードブック作成業務委託 令和4年度：42,000部作成、うち28,000部を每户配付 ■個別避難計画作成 令和4年度：9件作成		

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	地域防災計画に基づき、初動体制の強化、情報伝達の強化、備蓄品の充実、要配慮者への避難支援、自主防災組織の強化、地区防災計画の策定など総合的な防災対策や減災対策を推進しなければならない。					
課題	・地域防災力を高めるためには、さらに自助・共助の体制を推進することが重要である。 ・被害を最小限に抑えるためには、関係機関等との連携が必要である。 ・地区防災計画を推進するにあたり、住民にその重要性を理解してもらい災害を我がこととして認識してもらうこと。 ・防災士について、地域の防災活動に積極的に参画してもらうことと、その活用。					
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	災害発生時の対応に備え、市民の生命、身体及び財産を災害から守ることを目的に事業を進めていく。また、自主防災組織の設立支援等、自助、共助の活動の促進を図り、公助として個別避難計画の策定を推進し、市民に対する知育防災意識の高揚を図ることで、市民の安全と福祉の増進に努める。					
令和6年度事業計画	① 防災士の育成 ② 備蓄の充実 ③ 出前講座の実施 ④ 防災情報伝達システムによる情報配信 ⑤ 自主防災組織資機材整備事業 ⑥ 地域防災計画の改訂 ⑦ 個別避難計画の策定 ⑧ 地区防災計画の策定・支援					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	2	重要事業	総合戦略	担当部署	道路河川課 維持係
款・項・目	事業名		当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)
8・3・1	河川水路維持管理		21,757 千円	24,927千円	23,333千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶01_防災意識や危機対応力を高め、自助・共助・公助が一体となった災害に強いまちになる
施策の方向	▶2_危険箇所の早期発見による安全確保

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	市内における移動手段および排水機能の確保のため、都市基盤となる河川及び水路等の施設を適正に維持管理し、市民生活における利便性の向上と安全性を確保する。
----------------	---

令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
	河川水路維持管理 排水機能を確保するための施設の維持管理（除草、清掃） 施設の老朽化や破損に伴う補修工事（排水構造物、防護柵等）

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業スケジュール		河川水路維持管理 維持管理業務（除草、清掃等） 補修工事（構造物、防護柵等）	河川水路維持管理 維持管理業務（除草、清掃等） 補修工事（構造物、防護柵等）	河川水路維持管理 維持管理業務（除草、清掃等） 補修工事（構造物、防護柵等）
事業費		24,927	25,000	25,000
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	24,927	25,000	25,000

【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	補修等要望件数	79	目標値	76	75	73	72	70
		単位：件	実績値	47	114			
活動指標	河川、水路の点検実施件数	0	目標値	21	32	42	53	64
		単位：件	実績値	9	10			
			目標値					
			単位：	実績値				
			目標値					
			単位：	実績値				

【令和4年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和4年度予算額	24,927 千円	令和4年度決算額	23,333 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	維持管理実施延長 令和2年度：準用河川3河川（茂林寺川、蛇沼川、宮田川）の堤防および河床の除草 幹線排水路2河川の除草および河床の清掃 令和3年度：準用河川3河川（茂林寺川、蛇沼川、宮田川）の堤防および河床の除草 幹線排水路4河川の除草および河床の清掃 令和4年度：準用河川3河川（茂林寺川、蛇沼川、宮田川）の堤防および河床の除草 幹線排水路3河川の除草および河床の清掃			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	D
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である <input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である <input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている <input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている <input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	維持管理に必要な業務の実施時期を適切に管理し、補修要望等の件数を減少させることができた。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・全長L=62,827mにおよぶ河川、水路への堆積土砂の増加による排水機能の低下 ・多様なニーズに対応するための維持管理費用の増加
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）
	これまでの事後的な維持管理ではなく、定期的なパトロールを実施するとともに維持管理コストを軽減できる対策を検討し、長期的な維持管理コスト縮減に必要な補修等工事を進める。
令和6年度事業計画	河川水路維持管理 排水機能を確保するための施設の維持管理（除草、清掃） 施設の老朽化や破損に伴う補修工事（排水構造物、防護柵等） 維持管理業務（除草）の経費削減するための防草工事
予算規模見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較
備考	

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	3	重要事業	○	総合戦略	○	担当部署	道路河川課 整備係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)	
8・3・2	幹線排水路整備事業			73,655 千円	58,724千円	43,734千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶ 01_防災意識や危機対応力を高め、自助・共助・公助が一体となった災害に強いまちになる
施策の方向	▶ 4_排水施設整備による被害防止

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	雨水の急激な流出・冠水を抑制し、排水機能を強化するため、準用河川・幹線排水路などの排水施設について多角的かつ経済的に整備改修し災害を未然に防ぐ。
----------------	--

令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
幹線排水路整備事業【重要事業】	
①準用河川宮田川整備事業 管理用通路舗装1,090m（第一工区完了） 今年度にて第一工区流路部（市道2級26号線以東）が完成する。これらの効果もあり、地元複数住民等から冠水被害が軽減した旨の感想があった。このことから来年度出水期の状況を観察・検証したうえで、第二工区を推進する方針とする。	
②宮田2号幹線排水路整備事業 搬入路整備 45.7m 試作調整池 232.4m ³ 完成済の設計結果に基づき、用地買収を進め工事用搬入路を築造中だが、大規模調整池を含む排水路完成までには多大な費用と時間を要する。このことから、上記のとおり小規模調整池試作や既存水路の浚渫を行うなど、比較的安価な方策から実施し効果を見極めたうえで、事業を推進する方針とする。	
③冠水箇所水路小規模改修事業 新栄町地内排水路局部改修 1箇所 高根幹線排水路局部改修 1箇所 準用河川蛇沼川浚渫 200m 河川・排水路パトロール及び対策マップ作成 完成済の排水路であるが、現流入口が十分には機能しておらず、その結果排水路の能力を完全には発揮できていない。この解消を目指し局部的に改修するもの。また今後も、四つの準用河川・60の幹線排水路について職員が現地を踏査し、状況把握と往々にして複合的なことが多い冠水の原因を見極め、代表的原因について経済的かつ効果的な対策を考案し、これを優先して行い、事後効果を検証するものとする（所謂PDCAサイクル）。その結果被害が軽減或いは解消すればその時点で対策完了とし、不十分な場合は次位に経済的かつ効果的な対策をとる方針とする。	

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
事業 スケジュール	事業費	58,724	39,000	47,491	
	財源	国庫	10,000	0	0
		県費	0	0	0
		市債	27,000	7,600	5,476
		その他	0	0	0
一般財源		21,724	31,400	42,015	

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標 準用河川及び幹線排水路の整備率	78.4	目標値	78.5	78.5	78.6	78.7	78.8
	単位：%	実績値	78.5	78.5			
活動指標 河川・排水路パトロール（3年に一回） 及び対策マップ作成・更新	0	目標値	-	1	-	-	1
	単位：回	実績値	-	0	-	-	
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

【令和4年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和4年度予算額	58,724 千円	令和4年度決算額	43,734 千円
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<p>工事 準用河川宮田川：令和2年度56.2m、令和3年度56.4m、令和4年度1,062.0m（管理用通路舗装） 宮田2号幹線排水路（搬入路）：令和2年度62.0m、令和3年度45.7m、令和4年度…66.2m 宮田2号幹線排水路（浚渫）：令和4年度165.0m 準用河川蛇沼川（浚渫）：令和4年度200.9m 用地費 令和2年度1,124.42㎡、令和3年度1,579.46㎡、令和4年度359.68㎡</p>		

【事業の評価】

【Check】 指標評価	C
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である <input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である <input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている <input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている <input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	<p>準用河川宮田川は、これまでに河道改修や調整池の設置を行い、豪雨等による上流域の越水被害を削減している。 宮田2号幹線排水路は用地買収が今年度完了予定となっており、今後の調整池掘削とともに、着工が未だ先となる箇所浚渫等により、冠水被害の早期低減が期待できる。</p>
課題	<p>宮田2号幹線排水路流域は狭隘な道路が多いため、本事業のみならず道路拡幅事業も必要である。また、調整池掘削土運搬にあたっては同様に不都合を生じる。今後方策を検討する。</p>
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）
	<p>準用河川宮田川は、一級河川谷田川へ放流する排水機場から市道2級26号線までを1工区として令和4年度の河川管理用通路舗装をもって一旦完了した。今後、豪雨時の状況を注視・確認するものとする。 宮田2号幹線排水路整備は、今年度用地買収を完了予定であることから、調整池掘削工事を計画的に実施していく。 また、既成の準用河川や水路について浚渫を行い、流下能力の保全に努める。</p>
令和6年度事業計画	<p>宮田2号幹線排水路整備事業 調整池掘削工事 準用河川茂林寺川 河道浚渫工事</p>
予算規模見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較
備考	

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	4	重要事業	○	総合戦略	○	担当部署	建築課 住宅施設係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)	
8・6・1	空家対策関係			3,855千円	3,972千円	2,668千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶01_防災意識や危機対応力を高め、自助・共助・公助が一体となった災害に強いまちになる
施策目的	▶02_地域と市が連携して、防犯に取り組む安全安心なまちになる
施策の方向	▶5_総合的な空き家対策の推進
施策の方向	▶3_空き家の適正管理

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	空き家所有者の自発的な空き家除却を促進し、地域の住環境改善を図る。
----------------	-----------------------------------

令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
空家対策関係事業【重要事業】	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 空き家除却助成金 良好で快適な生活環境の形成を図るために、防災・防犯上危険な空き家を所有する者が、その空き家を除却する場合に、市が除却費用の一部を助成する。 ・ 空き家等の適正管理指導 空き家の周辺住民に影響を及ぼしている空き家所有者等に対し、適切な管理を促すため、情報の提供及び助言等を行うもの。 	

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業 スケジュール	空家対策関係事業【重】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 空き家除却助成金 ・ 適正管理通知 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 空き家除却助成金 ・ 適正管理通知 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 空き家除却助成金 ・ 適正管理通知
	事業費			
財源	国庫	900	900	900
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	3,072	3,072	3,072

【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	空き家除却助成金利用件数（累計）	4	目標値	13	26	39	52	65
		単位：件	実績値	17	26			
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	5	重要事業	総合戦略	担当部署	建築課 建築指導係
款・項・目	事業名		当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)
8・6・2	建築指導		4,538千円	4,381千円	3,981千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶ 01_防災意識や危機対応力を高め、自助・共助・公助が一体となった災害に強いまちになる
施策の方向	▶ 7_災害予防のための環境整備

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	建築基準法に基づく確認審査や検査事務等を適正に行い、安全で安心なまちづくりを目指す。
----------------	--

令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

建築確認	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建築確認申請の審査及び検査を行う。 ・ 指定確認検査機関からの報告書等を受理し審査する。 ・ 設計者や指定確認検査機関等からの相談に応じる。 ・ 建築基準法に基づく定期報告の審査及び違反建築物の是正指導を行う。
------	--

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
事業 スケジュール	建築確認	建築確認	建築確認	建築確認	
	事業費	4,381	4,381	4,381	
	財源	国庫	0	0	0
		県費	49	49	49
		市債	0	0	0
その他		4,332	4,332	4,332	
	一般財源	0	0	0	

【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	中間検査率	82.1	目標値	100	100	100	100	100
		単位：%	実績値	81.0	100			
活動指標	完了検査率	97.6	目標値	100	100	100	100	100
		単位：%	実績値	83.1	114.5			
			目標値					
			実績値					

【令和4年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和4年度予算額	4,381千円	令和4年度決算額	3,981千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	・建築確認申請受付件数（建築物）			
	年度	市受付分	指定確認検査機関受付分	
	令和4年度	62件	319件	
	令和3年度	87件	378件	
	令和2年度	74件	275件	
	・中間検査実施件数（建築物、市受付分のみ）			
	年度	対象件数	実施件数	検査率
	令和4年度	14件	14件	100.0%
	令和3年度	21件	17件	81.0%
	令和2年度	20件	23件	115.0%
・完了検査実施件数（建築物、市受付分のみ）				
年度	対象件数	実施件数	検査率	
令和4年度	62件	71件	114.5%	
令和3年度	83件	69件	83.1%	
令和2年度	74件	76件	102.7%	
※中間検査及び完了検査の検査率は、年度をまたぐ工事があるため率が100%を超える年度がある。				

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である <input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である <input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている <input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている <input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	特定行政庁として建築基準法に基づく建築確認等の事務を行っている。
課題	建築確認に係る業務については、指定確認検査機関が担う役割が大きくなっている。本市取扱い件数の減少に伴い審査等の経験を積む機会が減少する中、窓口相談や指定確認検査機関からの報告書の審査、多様化する建築法規等に適確に対応するための知識能力の維持向上が課題となっている。
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）
	・円滑かつ適確な窓口対応をするため、関係法令等の理解度向上に向けた研鑽を行う。 ・建築基準法に基づき業務を遂行しているため、法改正等への対応及び法の適切な運用を行う。
令和6年度事業計画	建築確認 ・建築確認申請の審査及び検査を行う。 ・指定確認検査機関からの報告書等を受領し審査する。 ・設計者や指定確認検査機関等からの相談に応じる。 ・建築基準法に基づく定期報告の審査及び違反建築物の是正指導を行う。
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較
備考	

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	6	重要事業	○	総合戦略	○	担当部署	建築課 建築指導係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)	
8・6・2	住宅・建築物耐震改修等事業			2,588千円	3,181千円	1,427千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶ 01_防災意識や危機対応力を高め、自助・共助・公助が一体となった災害に強いまちになる
施策の方向	▶ 7_災害予防のための環境整備

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	地震による木造住宅及びブロック塀の倒壊等の被害から市民の命と財産を守る。
----------------	--------------------------------------

令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

住宅・建築物耐震改修等事業【重要事業】

- ・木造住宅耐震診断者派遣事業
木造住宅耐震診断者による耐震性診断を実施し結果を通知する。
- ・木造住宅耐震改修補助事業
耐震診断の結果、倒壊する可能性がある又は高いと診断された木造住宅について、耐震診断、耐震改修設計及び耐震改修工事を行い、「一応倒壊しない」までの基準に住宅を改修した方に補助金を交付する。
- ・木造住宅耐震シェルター等設置補助事業
耐震診断の結果、倒壊する可能性がある又は高いと診断された木造住宅について、耐震シェルターや耐震ベッドなどの設置により圧死を防ぎ地震被害を軽減する施策を行った方に補助金を交付する。
- ・ブロック塀等撤去費補助事業
道路等に面する危険なブロック塀等を撤去する方に補助金を交付する。

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
		住宅・建築物耐震改修等事業【重】	住宅・建築物耐震改修等事業【重】	住宅・建築物耐震改修等事業【重】
事業スケジュール				
事業費		3,181	3,181	3,181
財源	国庫	1,293	1,293	1,293
	県費	325	325	325
	市債	0	0	0
	その他	229	229	229
	一般財源	1,334	1,334	1,334

【関連する指標】

活動指標	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	木造住宅耐震診断戸数	7	目標値	25	25	25	25	25
		単位：戸	実績値	4	8			
活動指標	木造住宅耐震改修補助戸数	0	目標値	1	1	2	2	2
		単位：戸	実績値	0	1			
活動指標	木造住宅耐震シェルター等設置補助戸数	0	目標値	1	1	1	1	1
		単位：戸	実績値	0	0			
活動指標	ブロック塀等撤去費補助件数	2	目標値	10	10	10	10	10
		単位：件	実績値	2	3			

【令和4年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和4年度予算額	3,181千円	令和4年度決算額	1,427千円
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<ul style="list-style-type: none"> ・木造住宅耐震診断者派遣事業 令和4年度： 8件 令和3年度： 4件 令和2年度： 16件 ・木造住宅耐震改修補助事業 令和4年度： 1件 令和3年度： 0件 令和2年度： 0件 	<ul style="list-style-type: none"> ・木造住宅耐震シェルター等設置補助事業 令和4年度： 0件 令和3年度： 0件 令和2年度： 0件 ・館林市ブロック塀等撤去工事補助事業 令和4年度： 3件 令和3年度： 2件 令和2年度： 1件 	

【事業の評価】

【Check】 指標評価	D
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である <input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である <input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある <input type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある <input type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	大規模地震による被害を減少させるために必要な事業ではあるが、補助件数の実績が伸びない。
課題	耐震改修工事を実施するには多額の費用を要するため、耐震診断を実施しても耐震改修工事までには至らない。
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)
	「館林市住宅耐震化緊急促進アクションプログラム」に基づき、住宅所有者に対する耐震化普及啓発・補助制度についての案内等を行う。
令和6年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・木造住宅耐震診断者派遣事業 : 25件 ・木造住宅耐震改修補助事業 : 2件 ・木造住宅耐震シェルター等設置補助事業 : 1件 ・館林市ブロック塀等撤去工事補助事業 : 10件
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較
備考	

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	7	重要事業	総合戦略	担当部署	下水道課 工務係
款・項・目	事業名		当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)
下水道事業会計	管渠管理費 (公共)		17,370 千円	17,373 千円	11,380 千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶01_防災意識や危機対応力を高め、自助・共助・公助が一体となった災害に強いまちになる
	▶03_人と環境にやさしい快適な生活が送れるまちになる
施策の方向	

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	下水道管きよを市民が安全安心に利用できるよう、定期的な清掃業務や点検・補修といった維持管理に努める。
----------------	--

令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

①汚水管渠清掃
②下水道マンホール蓋等修繕
③雨水渠除草

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
事業 スケジュール		①汚水管渠清掃 ②下水道マンホール蓋等修繕 ③雨水渠除草	①汚水管渠清掃 ②下水道マンホール蓋等修繕 ③雨水渠除草	①汚水管渠清掃 ②下水道マンホール蓋等修繕 ③雨水渠除草	
	事業費	17,373	17,373	17,373	
	財源	国庫	0	0	0
		県費	0	0	0
市債		0	0	0	
その他		17,373	17,373	17,373	
	一般財源	0	0	0	

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	汚水管渠清掃延長	目標値	2,081	2,311	2,540	2,770	3,000
		実績値	2,523	2,339			
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

【令和4年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和4年度予算額	17,373千円	令和4年度決算額	11,380千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	委託料	修繕費		
	令和2年度	4,070千円	令和2年度	7,578千円
	令和3年度	5,016千円	令和3年度	9,143千円
	令和4年度	3,971千円	令和4年度	7,039千円
R4：汚水管清掃業務委託、雨水きよ除草業務委託、下水道マンホール蓋等修繕 等				

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A			
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある	
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある	
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある	
評価根拠	管きよの維持管理は、汚水管きよ及び雨水きよの定期的な維持補修が必須であり、存続させる必要がある。			
課題	下水管きよにゴミや土砂がたまり、汚水や雨水の流れを妨げたり、毎日の使用で傷みが出たりするため、定期的な清掃・点検・補修が必要である。			
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)			
	・定期的な点検を行い、清掃及び補修を行う。			
令和6年度事業計画	①汚水管きよ清掃 ②下水道マンホール蓋等修繕 ③雨水きよ除草			
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較			
備考				

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	8	重要事業	総合戦略	担当部署	下水道課 工務係
款・項・目	事業名		当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)
下水道事業会計	ポンプ場管理費 (公共)		15,793 千円	6,201 千円	3,390 千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶01_防災意識や危機対応力を高め.自助・共助・公助が一体となった災害に強いまちになる
	▶03_人と環境にやさしい快適な生活が送れるまちになる
施策の方向	

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	尾曳污水中継ポンプ場、高根污水中継ポンプ場については、自然流下のため各ポンプ施設で高所に下水を汲み上げている。多々良沼雨水ポンプ場については、農繁期において多々良沼からの揚水、又大雨時に多々良沼への排水としての役割がある。
令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①汚水中継ポンプ場（尾曳・高根）の維持管理 高根・尾曳污水中継ポンプ場機器修繕	
②多々良沼雨水ポンプ場の維持管理	

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業 スケジュール		①汚水中継ポンプ場（尾曳・高根）の維持管理	①汚水中継ポンプ場（尾曳・高根）の維持管理	①汚水中継ポンプ場（尾曳・高根）の維持管理
		②多々良沼雨水ポンプ場の維持管理	②多々良沼雨水ポンプ場の維持管理	②多々良沼雨水ポンプ場の維持管理
事業費		6,201	6,201	6,201
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	6,201	6,201	6,201
一般財源		0	0	0

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
	単位：	目標値					
		実績値					
	単位：	目標値					
		実績値					
	単位：	目標値					
		実績値					
	単位：	目標値					
		実績値					

【令和4年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和4年度予算額	6,201千円	令和4年度決算額	3,390千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年		委託料	修繕費	
	令和2年度	1,166千円	3,410千円	
	令和3年度	1,166千円	5,027千円	
	令和4年度	1,166千円	一千円	
R4：多々良沼雨水ポンプ場維持管理業務委託 等 (尾曳・高根中継ポンプ場の運転管理は、水質管理センター包括業務委託に含む。)				

【事業の評価】

【Check】 指標評価	
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である <input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である <input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている <input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている <input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	下水を中継する施設、また雨水を揚水・排水する施設は、適切な汚水、雨水処理のために継続的に必要である。
課題	平成18年に供用開始された高根汚水中継ポンプ場は比較的修理や補修は少ないものの、昭和61年に供用開始された尾曳汚水中継ポンプ場については、施設の老朽化が課題となっている。
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)
	・定期的な点検を行い、清掃及び補修を行う。 ・尾曳・高根中継ポンプ場の運転維持管理業務について、引き続き包括業務委託を実施していく。
令和6年度事業計画	①汚水中継ポンプ場（尾曳・高根）の維持管理 汚水処理施設運転維持管理包括業務委託（公共下水道処理施設） ②多々良沼雨水ポンプ場の維持管理
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較
備考	

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	9	重要事業	○	総合戦略	○	担当部署	下水道課 工務係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)	
下水道事業会計	管渠整備費 (公共)			398,276 千円	475,565 千円	393,902 千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶01_防災意識や危機対応力を高め、自助・共助・公助が一体となった災害に強いまちになる
	▶03_人と環境にやさしい快適な生活が送れるまちになる
施策の方向	▶4_排水施設整備による被害防止
	▶5_公共下水道及びし尿処理施設の計画的な更新

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	衛生的で快適な生活環境の向上及び河川や沼の水質保全に寄与するため、汚水きよの整備を計画的に進める。また、発生が懸念される集中豪雨による浸水被害を防止するべく、雨水きよの整備を計画的に進め、安全安心なまちをつくる。
令和4年度事業計画 (主要な事業とその取組内容)	
管渠整備費 (公共) 【重要事業】	
①汚水渠の整備・更新	
②雨水きよの整備	

【事業スケジュール】

(単位：千円)

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業 スケジュール	管渠整備費 (公共) 【重】	管渠整備費 (公共) 【重】	管渠整備費 (公共) 【重】	管渠整備費 (公共) 【重】
	①汚水渠の整備・更新工事	①汚水渠の整備・更新工事	①汚水渠の整備・更新工事	①汚水渠の整備・更新工事
	②雨水きよの整備	②雨水きよの整備	②雨水きよの整備	②雨水きよの整備
事業費		475,565	475,565	475,565
財源	国庫	198,800	198,800	198,800
	県費	1,300	1,300	1,300
	市債	259,600	259,600	259,600
	その他	15,865	15,865	15,865
	一般財源	0	0	0

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標 公共下水道雨水渠の整備率	74.4	目標値	74.8	75.0	75.2	75.4	75.6
	単位：%	実績値	70.2	70.6			
総合計画指標 下水道水洗化率	89.6	目標値	90.2	90.5	90.8	91.1	91.4
	単位：%	実績値	90.8	91.0			
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

【令和4年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和4年度予算額	475,565千円	令和4年度決算額	393,902千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年		委託料	工事請負費	
	令和2年度	44,616千円	271,142千円	
	令和3年度	46,673千円	245,122千円	
	令和4年度	47,349千円	343,562千円	
	R4：汚水管きよ実施設計業務委託、汚水管築造工事、汚水幹線築造工事、雨水幹線築造工事 等			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	C			
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進におい て不可欠な事業で ある	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与し ている事業である
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られ ている
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水 準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が 得られている
評価根拠	未整備地区の整備が必要なうえ、今後は耐用年数（50年）を経過する管きよが急速に増加してくる。管きよの老朽化は社会的影響も大きいため、早急な対応が必要であり、管路ストックマネジメント計画に基づき調査、点検、改築事業を計画的に進める必要がある。			
課題	市民の日常生活や社会活動に重大な影響を及ぼす事故発生等を未然に防ぐため、調査、点検を実施し、予防保全型の計画的、効率的な維持管理を進めていく。施設の健全度により、多額の改築費が必要となってくる。			
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）			
	・下水道管きよの整備及び下水道の維持・更新を効率的に推進していく。			
令和6年度 事業計画	①汚水きよの整備（分福地域し尿処理場の統廃合） ②雨水きよの整備			
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較			
備考				

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	10	重要事業	○	総合戦略		担当部署	安全安心課	交通防犯係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)		
2・1・11	防犯関係事業			22,251千円	20,415千円	20,005千円		

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶ 02_地域と市が連携して防犯に取り組む安全安心なまちになる
施策の方向	▶ 2_防犯意識の向上による防犯環境形成

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	犯罪の発生を未然に防止し、地域の治安の向上を図るため、防犯啓発やパトロール等を行う。
----------------	--

令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

①防犯関係事業【重要事業】	<ul style="list-style-type: none"> ・ LED防犯灯設置 行政区からの要望により、LED防犯灯を設置。 ・ 防犯カメラ設置 館林警察署との協議により、犯罪発生率の高い地点から設置。 ・ 防犯関連団体補助 館林警察署管内防犯協会、被害者支援センターすてっぷぐんま、館林市防犯協会等に対し活動費を補助。 ・ 特殊詐欺対策機器購入費補助 高齢者の特殊詐欺被害の未然防止を目的に、特殊詐欺対策機器購入者に補助金を交付。
---------------	--

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業 スケジュール	①防犯関係事業【重】	①防犯関係事業【重】	①防犯関係事業【重】	①防犯関係事業【重】
	・ LED防犯灯設置	・ LED防犯灯設置	・ LED防犯灯設置	・ LED防犯灯設置
	・ 防犯カメラ設置	・ 防犯カメラ設置	・ 防犯カメラ設置	・ 防犯カメラ設置
	・ 防犯関連団体補助	・ 防犯関連団体補助	・ 防犯関連団体補助	・ 防犯関連団体補助
	・ 特殊詐欺対策機器購入費補助金	・ 特殊詐欺対策機器購入費補助金	・ 特殊詐欺対策機器購入費補助金	・ 特殊詐欺対策機器購入費補助金
事業費		20,415	20,415	20,415
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	20,415	20,415	20,415

【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標	刑法犯認知件数	602	目標値	586	570	554	537	520
		単位：件	実績値	413	502			
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

【令和4年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和4年度予算額	20,415千円	令和4年度決算額	20,005千円
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	①防犯関係事業【重】 <ul style="list-style-type: none"> ・LED防犯灯設置実績 令和2年度：100灯 令和3年度：100灯 令和4年度：100灯 累計6,302灯 ・防犯カメラ設置実績 令和3年度：1基 令和4年度：1基 ・市防犯協会補助金実績 令和2年度：会員数 1,708人 170,800円 令和3年度：会員数 1,641人 270,765円 令和4年度：会員数 1,600人 350,000円 ・特殊詐欺対策機器購入費補助実績 令和3年度：6件 36,000円 令和4年度：9件 52,000円 		

【事業の評価】

【Check】 指標評価	B		
事業の必要性	<input type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	・「館林市安全で安心なまちづくりを推進する条例」及び「館林市安全で安心なまちづくり推進計画」に基づき各種事業を実施。		
課題	・安全で安心なまちづくりを推進するため、関係機関及び関係団体との連携を強化し、効果的な施策を実施する必要がある。 ・防犯灯は継続事業として毎年100灯をリース設置しているが、令和6年2月で平成25年度リース分がリース切れとなるため、修繕費が発生する。また、行政区で設置したLEDの実態把握ができていないため、令和5年から令和6年に把握調査を行い、可能な限り市へ管理換えを行う。令和8年度以降は新設せず、設置済の防犯灯の維持を行う。		
【Action】 今後の方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)		
	市民や地域ぐるみの防犯活動等の取り組みが必要であり、暗がり等、犯罪や事故等を誘発する要因等を排除し、夜間における安全性を確保するため、行政区と連携し、防犯灯の維持を行う。		
令和6年度事業計画	・防犯カメラ設置箇所増 ・特殊詐欺対策機器購入費補助 ・防犯灯新設		
予算規模見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較		
備考			

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	11	重要事業	総合戦略	担当部署	市民協働課	市民相談係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)
7・1・7	消費生活センター運営管理			10,647 千円	10,694 千円	7,662 千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶ 02_地域と市が連携して防犯に取り組む安全安心なまちになる
施策の方向	▶ 1_啓発と相談体制の充実

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	市民の消費生活における被害防止・安全確保のため、相談及び指導等を行う。
----------------	-------------------------------------

令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①消費生活センター運営（相談及び苦情の処理、対処方法の助言・指導、被害救済のための斡旋、国データベースへの処理結果登録、立入検査の実施等）	
②消費者教育・啓発（出前講座の開催、啓発資料の作製・配布、注意喚起情報の発信等）	

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
事業 スケジュール	①消費生活センター運営 ②消費者教育・啓発		①消費生活センター運営 ②消費者教育・啓発	①消費生活センター運営 ②消費者教育・啓発	
	事業費	10,694	10,694	10,868	
	財源	国庫	0	0	0
		県費	0	0	0
		市債	0	0	0
その他		0	0	0	
	一般財源	10,694	10,694	10,868	

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標 消費生活センター出前講座回数	17	目標値	18	18	19	19	20
	単位：回	実績値	8	11			
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					

【令和4年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和4年度予算額	10,694千円	令和4年度決算額	7,662千円
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	■消費生活に関する相談件数 令和2年度 596件 令和3年度 533件 令和4年度 583件 ■消費生活センター出前講座実施回数 令和2年度 1回 (申込数2回※新型コロナウイルスのため、1回は中止) 令和3年度 8回 (申込数14回※新型コロナウイルスのため、6回は中止) 令和4年度 11回 ※コロナウイルスの影響あり		

【事業の評価】

【Check】 指標評価	D		
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	<input checked="" type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	<input checked="" type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低
評価根拠	・出前講座については、新型コロナウイルス感染症の影響もあったが、小学校5年生への出前講座も含め、昨年度よりも多くの回数を行うことができた。		
課題	・手口が巧妙化する消費者トラブルや特殊詐欺が増えている中、被害を未然に防ぐための啓発や情報提供がますます必要となっている。 ・成年年齢が18歳に引下げによる社会経験の浅い若年層、及び高齢者の不安（健康・お金・孤独）をおおる消費生活のトラブルが今後も増えていくことが懸念されるため、消費生活相談体制の充実が求められている。		
【Action】 今後の方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)		
	・消費者被害を未然に防ぐために、消費生活に関する啓発や情報提供の充実に努める。また、相談体制を充実させるなど、消費生活の安全性を確保し、安心して生活が出来るよう消費者の保護に努める。 ・現在の相談体制を維持するためには、今後も引き続き、相談員の技術力向上のための研修の機会を確保しながら相談体制を充実させていく必要がある。		
令和6年度事業計画	①消費生活センター運営（相談及び苦情の処理、対処方法の助言・指導、被害救済のための斡旋、国データベースへの処理結果登録、立入検査の実施等） ②消費者教育・啓発（出前講座の開催、啓発資料の作製・配布、注意喚起情報の発信等）		
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較		
備考			

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	12	重要事業	○	総合戦略	○	担当部署	建築課 住宅施設係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)	
8・6・1	空家対策関係			3,855千円	3,972千円	2,668千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶01_防災意識や危機対応力を高め、自助・共助・公助が一体となった災害に強いまちになる
施策目的	▶02_地域と市が連携して、防犯に取り組む安全安心なまちになる
施策の方向	▶5_総合的な空き家対策の推進
施策の方向	▶3_空き家の適正管理

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	空き家所有者の自発的な空き家除却を促進し、地域の住環境改善を図る。
----------------	-----------------------------------

令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
空家対策関係事業【重要事業】	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 空き家除却助成金 良好で快適な生活環境の形成を図るために、防災・防犯上危険な空き家を所有する者が、その空き家を除却する場合に、市が除却費用の一部を助成する。 ・ 空き家等の適正管理指導 空き家の周辺住民に影響を及ぼしている空き家所有者等に対し、適切な管理を促すため、情報の提供及び助言等を行うもの。 	

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業 スケジュール		空家対策関係事業【重】 ・ 空き家除却助成金 ・ 適正管理通知	空家対策関係事業【重】 ・ 空き家除却助成金 ・ 適正管理通知	空家対策関係事業【重】 ・ 空き家除却助成金 ・ 適正管理通知
	事業費	3,972	3,972	3,972
財源	国庫	900	900	900
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	3,072	3,072	3,072

【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	空き家除却助成金利用件数（累計）	4	目標値	13	26	39	52	65
		単位：件	実績値	17	26			
			目標値					
			単位：	実績値				
			目標値					
			単位：	実績値				
			目標値					
			単位：	実績値				

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	13	重要事業	総合戦略	担当部署	地球環境課	環境保全係
款・項・目	事業名		当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)	
4・2・1	環境衛生事業		7,383千円	7,485千円	6,385千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶ 03_人と環境にやさしい快適な生活が送れるまちになる
施策の方向	▶ 2_環境意識の高揚による各種活動の推進

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	害虫や狂犬病などから市民生活を守り、良好な環境を保全する。 事業内容：スズメバチ駆除、狂犬病予防、犬猫避妊・断種手術補助、池沼の清掃（3漁協委託）、雑草苦情処理など
----------------	---

令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

①狂犬病予防法に関する事務事業	狂犬病予防法に基づく犬の登録、狂犬病予防注射の実施
②スズメバチの巣駆除事業	安全安心なまちづくりの一環として、生命にも危険を及ぼすスズメバチに限定し活動巣を駆除
③犬、猫の避妊及び断種手術費補助事業	野犬、野良猫の発生抑制

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業 スケジュール	①狂犬病予防法に関する事務事業 犬の登録、狂犬病予防注射の実施	①狂犬病予防法に関する事務事業 犬の登録、狂犬病予防注射の実施	①狂犬病予防法に関する事務事業 犬の登録、狂犬病予防注射の実施	①狂犬病予防法に関する事務事業 犬の登録、狂犬病予防注射の実施
	②スズメバチの巣駆除事業	②スズメバチの巣駆除事業	②スズメバチの巣駆除事業	②スズメバチの巣駆除事業
	③犬、猫の避妊及び断種手術費補助事業	③犬、猫の避妊及び断種手術費補助事業	③犬、猫の避妊及び断種手術費補助事業	③犬、猫の避妊及び断種手術費補助事業
事業費		7,485	7,485	7,485
財源	国庫	0	0	0
	県費	545	545	545
	市債	0	0	0
	その他	2,765	2,765	2,765
	一般財源	4,175	4,175	4,175

【関連する指標】

活動指標	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
予防注射接種率 (注射件数/登録件数)		77.9	目標値	81.9	84.0	86.0	88.0	90.0
	単位：%		実績値	76.4	60.5			
			目標値					
	単位：		実績値					
			目標値					
	単位：		実績値					
			目標値					
	単位：		実績値					

【令和4年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和4年度予算額	7,474 千円	令和4年度決算額	6,385 千円
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 狂犬病予防注射件数 令和2年度：2,875件 令和3年度：2,962件 令和4年度：2,920件 ・ スズメバチ巣駆除件数 令和2年度：133件 令和3年度：113件 令和4年度：65件 ・ 犬猫避妊及び断種手術補助件数 令和2年度：268件 令和3年度：280件 令和4年度：278件 ・ 雑草苦情処理件数 令和2年度：120件 令和3年度：125件 令和4年度：166件 		

【事業の評価】

【Check】 指標評価	D		
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	狂犬病予防注射接種率件数が低下した事については、年度末に事業者による大量の登録（919件）があったためである。引き続き、狂犬病予防注射の重要性を啓発していく必要があると考える。		
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 私有地における雑草や樹木の管理といった民事間の問題についての苦情が年々増えていることから、土地所有者の認識改善や地域課題として取組むなど、市民や関係機関の理解協力が必要である。 ・ 狂犬病予防注射接種率の改善、地域猫活動登録団体の餌やりによる環境悪化に対する指導（ルール遵守）の継続が必要と考える。 		
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）		
	市民の生活環境の維持・向上に向けて、狂犬病予防注射をはじめとした各種環境衛生事業を継続実施していく必要があると考える。		
令和6年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 犬の登録及び狂犬病予防注射の実施 ・ スズメバチ駆除業務 ・ 犬猫避妊及び断種手術補助 		
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較		
備考			

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	14	重要事業	総合戦略	担当部署	地球環境課	環境保全係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)
4・2・1	環境保健委員運営事業			8,672千円	8,787千円	8,385千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶ 03_人と環境にやさしい快適な生活が送れるまちになる
施策の方向	▶ 2_環境意識の高揚による各種活動の推進

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	市民のより良い生活環境の保全と保健衛生向上のため、各行政区に環境保健委員（任期2年）を置く。
----------------	--

令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

①環境保健委員協議会の運営 常任委員会の開催 ②市内クリーン作戦の実施 市内の清掃活動 ③廃タイヤ等の有料回収 処理困難物である廃タイヤや廃バッテリーを有料で回収 ④視察研修 委員として必要な知識と技術の向上を図るための視察研修 ⑤研修会及び意見交換会 委員としての知識を身につけるとともに、市内の現況について理解を深めてもらうため実施

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業 スケジュール		①環境保健委員協議会の運営 常任委員会の開催 ②市内クリーン作戦の実施 ③廃タイヤ等の有料回収 ④視察研修 ⑤研修会及び意見交換会	①環境保健委員協議会の運営 常任委員会の開催 ②市内クリーン作戦の実施 ③廃タイヤ等の有料回収 ④視察研修 ⑤研修会及び意見交換会	①環境保健委員協議会の運営 常任委員会の開催 ②市内クリーン作戦の実施 ③廃タイヤ等の有料回収 ④視察研修 ⑤研修会及び意見交換会
事業費		8,787	8,787	8,787
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	8,787	8,787	8,787

【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	常任委員会の開催	5	目標値	5	5	5	5	5
		単位：回	実績値	2	3			
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

【令和4年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和4年度予算額	8,787千円	令和4年度決算額	8,385千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 委員数 令和2年度：135名 令和3年度：135名 令和4年度：139名 ・ 常任委員会の開催 令和2年度：2回 令和3年度：2回 令和4年度：3回 ・ クリーン作戦参加者数 令和2年度：新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 令和3年度：新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 令和4年度：87名 			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	C					
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	新型コロナウイルス感染症の影響により、常任委員会の開催は年度目標を下回っている。感染症の動向等を注視しながら、時機に応じた対応を図る必要があると考える。					
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 委員の高齢化 ・ 委員の業務の平準化 					
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)					
	市民の生活環境の維持・向上という観点から環境保健委員の担う役割は大きく、ゴミの分別排出の指導や不法投棄の防止対策などについて継続実施していく必要があると考える。					
令和6年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 常任委員会の開催 ・ 市内クリーン作戦の実施 ・ 廃タイヤ等の有料回収 ・ 視察研修 ・ 研修会及び意見交換会 					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	15	重要事業	総合戦略	担当部署	地球環境課	環境保全係
款・項・目	事業名		当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)	
4・2・1	鳥獣保護対策事業		1,152千円	1,030千円	953千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶ 03_人と環境にやさしい快適な生活が送れるまちになる
施策の方向	▶ 1_多様な協力連携による自然環境の保全

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	鳥獣保護法に基づき、鳥類又は哺乳類に属する野生動物を保護し、生物多様性の確保及び自然生態系の維持を図る。一方で、有害鳥獣による農業被害や生活環境への悪影響対策を推進する。
----------------	---

令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

①越冬飛来白鳥の調査と保護	多々良沼及び城沼に飛来する白鳥について、白鳥を守る会に依頼し飛来数を調査。最も飛来数が多くなる2月に毎週1回、同時間帯による一斉調査を行う。
②有害鳥獣捕獲許可事業事務事業	農業被害や生活環境に悪影響を及ぼす有害鳥獣の捕獲許可事務。

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業 スケジュール	①越冬飛来白鳥の調査と保護		①越冬飛来白鳥の調査と保護	①越冬飛来白鳥の調査と保護
	②有害鳥獣捕獲許可事業		②有害鳥獣捕獲許可事業	②有害鳥獣捕獲許可事業
事業費		1,030	1,030	1,030
財源	国庫	0	0	0
	県費	667	667	667
	市債	0	0	0
	その他	46	46	46
	一般財源	317	317	317

【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	有害鳥獣捕獲許可件数	37	目標値	40	40	40	40	40
		単位：件	実績値	31	39			
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

【令和4年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和4年度予算額	1,041千円	令和4年度決算額	953千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	・白鳥飛来数（日最大飛来数） 令和2年度：248羽（2月10日） 令和3年度：253羽（2月10日） 令和4年度：256羽（2月4日） ・鳥獣の捕獲許可件数及び捕獲数 令和2年度：37件、390頭 令和3年度：31件、373頭 令和4年度：39件、388頭			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	C					
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	有害鳥獣捕獲許可件数は、ほぼ年度目標どおりとなった。生活環境及び農林水産業等への被害防止を目的とした捕獲許可については、継続する必要があると考える。					
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・有害鳥獣による被害減少を図るための防除方法の周知 ・農業被害を担当する農業振興課との連携強化 ・多々良沼野鳥観察棟の省エネ化の検討（蛍光灯LED化）、管理委託内容の検討 					
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	生活環境保全及び農業被害防止のため、鳥獣保護及び有害鳥獣対策は継続していく必要があると考える。					
令和6年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・越冬飛来白鳥の調査と保護 ・有害鳥獣捕獲許可事業 					
予算規模見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	16	重要事業	総合戦略	担当部署	地球環境課	環境保全係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)
4・2・1	クビアカツヤカミキリ撲滅事業			8,808千円	8,641千円	7,331千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶ 03_人と環境にやさしい快適な生活が送れるまちになる
施策の方向	▶ 1_多様な協力連携による自然環境の保全

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	市民との協働による撲滅事業等を実施することにより、特定外来生物クビアカツヤカミキリの被害拡大防止を図る。
----------------	--

令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

①クビアカツヤカミキリ撲滅事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駆除奨励金、奨励品の交付 ・ 防除用薬剤の配布 ・ 防除用防虫ネットの配布 ・ 薬剤樹幹注入処理
②邑楽館林クビアカツヤカミキリ対策協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 被害拡散防除のための伐倒

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業 スケジュール	①クビアカツヤカミキリ撲滅事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駆除奨励金、奨励品の交付 ・ 防除用薬剤の配布 ・ 防除用防虫ネットの配布 ・ 薬剤樹幹注入処理 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駆除奨励金、奨励品の交付 ・ 防除用薬剤の配布 ・ 防除用防虫ネットの配布 ・ 薬剤樹幹注入処理 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駆除奨励金、奨励品の交付 ・ 防除用薬剤の配布 ・ 防除用防虫ネットの配布 ・ 薬剤樹幹注入処理
	②邑楽館林クビアカツヤカミキリ対策協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防除のための伐倒 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防除のための伐倒 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防除のための伐倒
事業費		8,641	8,641	8,641
財源	国庫	0	0	0
	県費	3,160	3,160	3,160
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	5,481	5,481	5,481

【関連する指標】

活動指標	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
クビアカツヤカミキリ捕殺匹数		6,648	目標値	7,765	8,324	8,882	9,441	10,000
	単位：匹		実績値	7,503	7,174			
	単位：		目標値					
			実績値					
	単位：		目標値					
			実績値					
	単位：		目標値					
			実績値					

【令和4年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和4年度予算額	8,641千円	令和4年度決算額	7,331千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防除のための伐倒本数 令和2年度：17本、令和3年度：14本、令和4年度：11本 ・ 成虫の捕殺数 令和2年度：6,249匹、令和3年度：7,503匹、令和4年度：7,174本 ・ 防除用薬剤配布数 令和2年度：97本、令和3年度：95本、令和4年度：31本 ・ 防除用防虫ネット配布数 令和2年度：155.0m、令和3年度：232.0m、令和4年度：164m ・ 樹幹注入処理 令和3年度：172本、令和4年度：168本 			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	D					
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	市民との協働によるクビアカツヤカミキリの捕殺数は、年度目標を上回っている。被害拡大防止等の観点からも、撲滅プロジェクトの継続は必要であると考えます。					
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民、事業者へのさらなる周知 ・ 被害の多いサクラに対する樹幹注入や被害木伐倒には多額の費用を要するため、持続可能な施策となるよう検討する必要がある。 					
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)					
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民、事業者へのさらなる周知 ・ 被害の多いサクラへ有効な対策を実施するには多額の費用を要することから、国・県への支援拡充の働きかけを引続き行う。 					
令和6年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ クビアカツヤカミキリ撲滅事業の推進（奨励金等交付、防除用品配布、薬剤樹幹注入、被害木伐倒） ・ 邑楽館林地域クビアカツヤカミキリ対策協議会における高校との連携事業の実施 					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	17	重要事業	総合戦略	担当部署	地球環境課	環境保全係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)
4・2・2	環境調査事業			4,804千円	4,067千円	2,902千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶ 03_人と環境にやさしい快適な生活が送れるまちになる
施策の方向	▶ 4_各種調査による状況把握及び指導による公害防止

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	水質・騒音等を経年的に調査・測定するなど現状把握に努め、生活環境の保全対策を推進する。
----------------	---

令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

①公共用水域水質調査	水質汚濁法第16条の規定による県知事作成する測定計画に基づく公共用水域の水質調査
②騒音測定調査	（環境基本法第16条の規定に基づき）「騒音に係る環境基準」に定められた一般地域（道路に面する地域以外の地域）における騒音の環境基準について、達成状況を把握するための調査
③自動車騒音常時監視	騒音規制法第18条の規定による自動車騒音の常時監視に係る事務（平成24年度より群馬県から移譲された法定受託事務）
④食品放射性物質検査	安全・安心を確保するため、食品に含まれる放射性物質の検査
⑤空間放射線量測定	安全・安心を確保するため、市内14カ所の空間放射線量を測定

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業 スケジュール	①公共用水域水質調査			
	②騒音測定調査			
	③自動車騒音常時監視			
	④食品放射性物質検査			
	⑤空間放射線量測定			
事業費		4,067	4,067	4,067
財源	国庫	0	0	0
	県費	160	160	160
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	3,907	3,907	3,907

【関連する指標】

活動指標	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	環境騒音測定超過か所数	0	目標値	0	0	0	0	0
		単位：か所	実績値	0	0			
活動指標	自動車騒音測定基準値達成率	98.1	目標値	98.4	98.55	98.7	98.85	99
		単位：%	実績値	98.8	99.1			
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

【令和4年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和4年度予算額	4,067千円	令和4年度決算額	2,902千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食品放射性物質検査（学校給食等すべて含む） 令和2年度：64件（不検出）、令和3年度：71件（不検出）、令和4年度：73件（不検出） ※令和2年度から地球環境課では市民検査のみ実施 ・ 空間放射線量測定 平成29年度～令和元年度：14か所を年4回 0.23μSv以下、令和2年度～：年2回 ・ 専用水道等監視業務（立入検査） 令和2年度：1回、令和3年度：1回、令和4年度：2回 ・ 公共用水域水質調査 城沼中央部におけるBOD値（75%値） 令和2年度：8.8mg/L、令和3年度：6.0mg/L、令和4年度：9.0mg/L ・ 騒音測定調査（環境騒音） 令和2年度：8か所（基準値内）、令和3年度：8か所（基準値内）、令和4年度：8か所（基準値内） ・ 自動車騒音常時監視 令和2年度：6路線（同 98.7%）、令和3年度：6路線（同 98.8%）、 令和4年度：4路線（同 99.1%） 			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A			
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある	
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある	
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある	
評価根拠	環境騒音測定超過か所数は年度目標どおり、自動車騒音測定基準値達成率については、年度目標を上回っている。 生活環境を保全する観点から、継続的な調査実施が必要であると考ええる。			
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 騒音測定計画の更新及び調査か所数の見直し ・ 臭気測定のサンプル採取について、正確な調査結果を得るために全面委託化を検討する必要がある。 			
【Action】 今後の方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）			
	生活環境の保全に努めるため、環境調査及び測定を行い現状把握する必要があると考ええる。			
令和6年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共用水域水質調査 ・ 騒音測定調査 ・ 自動車騒音常時監視業務 ・ 食品放射性物質検査 ・ 空間放射線量測定 			
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較			
備考				

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	18	重要事業	○	総合戦略		担当部署	地球環境課	環境保全係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)		
4・2・2	水質浄化対策事業			23,368千円	21,989千円	16,386千円		

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶ 03_人と環境にやさしい快適な生活が送れるまちになる
施策の方向	▶ 5_公共下水道及びし尿処理施設の計画的な更新

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	日本遺産「里沼」の水辺環境を後世に引継ぐため、生活排水対策として合併処理浄化槽の設置などを推進するとともに、水辺環境保全に対する市民の意識啓発を図る
----------------	--

令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

①合併処理浄化槽設置費補助	
②合併処理浄化槽管理費補助	
③水辺環境保全団体の活動支援	<ul style="list-style-type: none"> ・城沼サミット開催 ・加法師川清掃活動
④水質浄化対策事業【重要事業】	<ul style="list-style-type: none"> ・鶴生田川水質浄化実証試験【新規】

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業 スケジュール	①合併処理浄化槽設置費補助		①合併処理浄化槽設置費補助	①合併処理浄化槽設置費補助
	②合併処理浄化槽管理費補助		②合併処理浄化槽管理費補助	②合併処理浄化槽管理費補助
	③水辺環境保全団体の活動支援 ・城沼サミット開催 ・加法師川清掃活動		③水辺環境保全団体の活動支援 ・城沼サミット開催 ・加法師川清掃活動	③水辺環境保全団体の活動支援 ・城沼サミット開催 ・加法師川清掃活動
	④水質浄化対策事業【重】 ・鶴生田川水質浄化実証試験【新】		④水質浄化対策事業【重】 ・鶴生田川水質浄化実証試験	④水質浄化対策事業【重】 ・鶴生田川水質浄化実証試験
事業費		21,989	27,739	27,739
財源	国庫	7,918	7,918	7,918
	県費	5,684	5,684	5,684
	市債	0	0	0
	その他	14	14	14
	一般財源	8,373	14,123	14,123

【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標	BOD数値（城沼中央の水質）	8.3	目標値	7.2	6.65	6.1	5.55	5以下
		mg/L	実績値	6.0	9.0			
活動指標	合併処理浄化槽設置費補助件数	17	目標値	30	30	30	30	30
		単位：件	実績値	30	26			
			目標値					
			単位：	実績値				
			目標値					
			単位：	実績値				

【令和4年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和4年度予算額	21,989千円	令和4年度決算額	16,386千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<ul style="list-style-type: none"> ・浄化槽設置費整備事業補助件数 令和2年度：24件 令和3年度：30件 令和4年度：26件 ・浄化槽維持管理費補助件数 令和2年度：348基 令和3年度：267基 令和4年度：40基 ・城沼サミット参加者数 令和2年度：新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 令和3年度：新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 令和4年度：新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	D					
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	BOD数値、合併処理浄化槽設置費補助件数ともに年度目標を下回ることとなった。水質浄化に向けて、合併処理浄化槽への転換をさらに推進していく必要があると考える。					
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・水質汚濁原因を究明するため、生活排水の実態把握とその状況に応じた施策を展開し市民の意識啓発を図る必要がある。 ・令和2年度から拡充した「宅内配管工事費補助」の更なる周知による合併処理浄化槽への転換基数の増加。 					
【Action】 今後の方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)					
	合併浄化槽への転換を推進し水質浄化を図るため、循環型社会形成推進交付金を活用した補助事業を継続していく必要があると考える。 ※鶴生田川水質浄化実証実験については、実用化の段階に至っていないことから、実証実験の取組は見送ることとした。					
令和6年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・合併処理浄化槽設置費補助 ・合併浄化槽清掃費補助 ・水辺環境保全団体の活動支援 					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	19	重要事業	○	総合戦略		担当部署	地球環境課	環境政策係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)		
4・2・2	地球温暖化対策事業			4,268千円	6,799千円	6,470千円		

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶ 03_人と環境にやさしい快適な生活が送れるまちになる
施策の方向	▶ 3_地球温暖化対策の推進

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	C02をはじめとする温室効果ガスの削減や再生可能エネルギー等の普及、省エネルギーの推進、ヒートアイランド現象に対する適用策を通じて、地球温暖化の防止及び本市の暑さ対策を推進する。
----------------	---

令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

①地球温暖化対策事業【重要事業】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第5次館林市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の運用 令和7年度に基準年度比14%の温室効果ガス排出量の削減を目標に、各課へ省エネの取組を依頼し、前年度の実績を取りまとめて報告・公表する ・ 再生可能エネルギー・省エネルギー対策の推進 ・ 館林市蓄電池設備設置補助金の交付 家庭における温室効果ガスの排出抑制、災害時の停電に備えるため、蓄電池の設置（購入）した方に補助金（館林市金券）を交付する ・ 館林市気候変動対策本部の運営 「たてばやし5つのゼロ宣言」・熱中症対策に関することを推進するため、気候変動対策本部を設置・運営する
------------------	---

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業 スケジュール	①地球温暖化対策事業【重】	①地球温暖化対策事業【重】	①地球温暖化対策事業【重】	①地球温暖化対策事業【重】
	・ 第5次館林市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の運用	・ 第5次館林市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の運用	・ 第5次館林市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の運用	・ 第5次館林市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の運用
	・ 再生可能エネルギー・省エネルギー対策の推進	・ 再生可能エネルギー・省エネルギー対策の推進	・ 再生可能エネルギー・省エネルギー対策の推進	・ 再生可能エネルギー・省エネルギー対策の推進
	・ 蓄電池設備設置補助金の交付	・ 蓄電池設備設置補助金の交付	・ 蓄電池設備設置補助金の交付	・ 蓄電池設備設置補助金の交付
	・ 気候変動対策本部の設置・運営	・ 気候変動対策本部の運営	・ 気候変動対策本部の運営	・ 気候変動対策本部の運営
事業費		6,799	6,058	6,058
財源	国庫			
	県費			
	市債			
	その他	1,245	1,245	540
	一般財源	5,554	4,813	5,518

【関連する指標】

指標	現状値 (H30年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標 【市民アンケート】環境にやさしい暮らしを実践している市民の割合	93.6	目標値	95.0	95.4	95.9	96.4	96.8
	単位：%	実績値	96.5	96.6			
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					

【令和4年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和4年度予算額	6,799千円	令和4年度決算額	6,470千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3か 年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境パトロール用電気自動車の導入 ・ ミスト発生装置（扇風機）貸出事業 令和2年度 16件 令和3年度 6件 令和4年度 10件 ・ 蓄電池設備設置補助事業 ※令和3年度新規 令和3年度89件（定置用31件、ポータブル58件） 令和4年度59件（定置用43件、ポータブル16件） ・ 暑さ対策本部会議、市民会議 ※令和3年度終了 令和2年度 本部会議2回、市民会議開催中止（資料送付） 令和3年度 本部会議2回、市民会議1回 ・ 気候変動対策本部会議 ※令和4年度より 令和4年度 2回（うち1回は書面開催） ・ ウォームシェアスポット利用促進事業 令和4年度 1か所（民間） ※令和5年度より、地球温暖化対策事業と環境管理事業を統合し環境政策事業とした			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	指標については年度目標を上回ることができた。温室効果ガスの削減についても、第5次地球温暖化対策実行計画（事務事業編）で定めた目標値を達成することができた。引き続き目標値を達成できるよう、市が率先して地球温暖化防止対策に取り組む必要があると考える。					
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 温室効果ガスの削減や省エネの推進、暑さ対策については、地球規模の大きな課題であり、個々の対策の積み重ねが大切である。これらの対策について市民一人一人の心を動かし、市民の間に浸透させる政策を考えなければならない。 ・ クリーンエネルギーの導入（市有施設） 					
【Action】 今後の方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	地球規模の気候変動に対応するため、引き続き地球温暖化防止対策について市が継続して取り組み、市民を動かせるようにする必要があるため、継続実施していく必要があると考える。					
令和6年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第5次館林市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の運用 ・ 再生可能エネルギー・省エネルギー対策の推進 ・ 館林市蓄電池設備設置補助金の交付 ・ 気候変動対策本部の開催、運営 ・ 環境啓発事業（環境フェスティバル等） 					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	20	重要事業	○	総合戦略		担当部署	地球環境課	環境政策係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)		
4・2・2	環境管理事業			5,260千円	5,475千円	4,648千円		

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶ 03_人と環境にやさしい快適な生活が送れるまちになる
施策の方向	▶ 2_環境意識の高揚による各種活動の推進

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	環境マネジメントシステム（EMS）の運用を通じて、第三次環境基本計画の進行管理、省エネ・省資源などのエコオフィス活動の着実な推進を図り、地球環境にやさしい行政活動を推進する。
----------------	---

令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

①環境管理事業【重要事業】

- ・ 環境審議会の運営
環境基本条例第26条に基づき設置され、良好で快適な環境の保全及び創造に関する重要事項について調査審議する
- ・ 第三次館林市環境基本計画の運用及び進行管理
環境基本条例第7条に基づき、良好で快適な環境の保全及び創造に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るために定められる
- ・ たてばやし5つのゼロ宣言の進行管理
- ・ 館林市環境マネジメントシステムの運用
自治体や企業などの活動によって生じる環境への負荷を低減するとともに、環境保全活動の推進のための目標を設定し、その目標を達成するための取り組みを実施
- ・ 省エネ法、温対法、県条例への対応
全庁的なエネルギー使用量を把握し、各種法令に基づき毎年報告等を行う
- ・ 館林市環境賞
- ・ 環境教育の推進

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業 スケジュール		①環境管理事業【重】 ・ 環境審議会の運営 ・ 第三次館林市環境基本計画の運用 ・ たてばやし5つのゼロ宣言の進行管理 ・ 環境マネジメントシステムの運用 ・ 省エネ法、温対法、県条例への対応 ・ 館林市環境賞 ・ 環境教育の推進	①環境管理事業【重】 ・ 環境審議会の運営 ・ 第三次館林市環境基本計画の運用 ・ たてばやし5つのゼロ宣言の進行管理 ・ 環境マネジメントシステムの運用 ・ 省エネ法、温対法、県条例への対応 ・ 館林市環境賞 ・ 環境教育の推進	①環境管理事業【重】 ・ 環境審議会の運営 ・ 第三次館林市環境基本計画の運用 ・ たてばやし5つのゼロ宣言の進行管理 ・ 環境マネジメントシステムの運用 ・ 省エネ法、温対法、県条例への対応 ・ 館林市環境賞 ・ 環境教育の推進
事業費		5,475	5,475	5,475
財源	国庫			
	県費			
	市債			
	その他			
	一般財源	5,475	5,475	5,475

【関連する指標】

活動指標	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	小中学校、団体、市民への環境学習支援講座開催数	1	目標値	3	6	9	12	14
		単位：	実績値	1	1			
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

【令和4年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和4年度予算額	5,475千円	令和4年度決算額	4,648千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境審議会 令和2年度 2回 令和3年度 2回 令和4年度 4回 ・ 館林市環境賞 令和2年度 1個人、3団体 令和3年度 3個人、3団体 令和4年度 2個人、3団体 ・ 環境ISO運用事業 環境マネジメントシステム運用業務 環境監査業務 省エネ法等の各種法令対応業務 ※令和5年度より、地球温暖化対策事業と環境管理事業を統合し環境政策事業とした			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	D					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進におい て不可欠な事業で ある	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与し ている事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有 無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られ ている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水 準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が 得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、講座開催数は年度目標を下回った。日常生活・社会経済活動が回復してきたことから、事業を推進していく必要があると考える。					
課題	省エネ・省資源対策について、事務局のみの対応には限界があることから、各課・施設が当事者意識を持ち、自ら積極的に取り組む職員を育てることが必要と考える。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)					
	第三次館林市環境基本計画に基づき、省エネ・省資源等の実現に向けて率先して事業を行う必要があるため、継続実施していく必要があると考える。					
令和6年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境審議会の運営 ・ 第三次館林市環境基本計画・たてばやし5つのゼロ宣言の進行管理 ・ 省エネ法、温対法、県条例への対応 ・ 環境マネジメントシステム運用業務等 					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	21	重要事業	総合戦略	担当部署	地球環境課	環境保全係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)
4・2・2	自然環境保全事業			1,865千円	1,883千円	1,463千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶ 03_人と環境にやさしい快適な生活が送れるまちになる
施策の方向	▶ 1_多様な協力連携による自然環境の保全

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 過去、蛇沼に自生していたオニバスが、平成7年に30数年ぶりに確認されたことをきっかけに、残された湿原一体を、水辺環境や里山の復元とこの地域に自生していた貴重な動植物の再生を目指すもの。 ・ 雨水を水資源として活用することにより地下水保全・地盤沈下対策を図ると共に、雨水の一時貯留、地下浸透による雨水排水対策を兼ねるもの。
----------------	---

令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

①上赤生田学びの森整備事業 四中の森下草刈り・葎焼き ②雨水浸透柵等設置補助事業
--

【事業スケジュール】

（単位：千円）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業スケジュール	①上赤生田学びの森整備事業 四中の森下草刈り・葎焼き ②雨水浸透柵等設置補助事業	①上赤生田学びの森整備事業 四中の森下草刈り・葎焼き ②雨水浸透柵等設置補助事業	①上赤生田学びの森整備事業 四中の森下草刈り・葎焼き ②雨水浸透柵等設置補助事業
事業費	1,883	1,883	1,883
財源	国庫	0	0
	県費	250	250
	市債	0	0
	その他	124	124
	一般財源	1,509	1,509

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
活動指標 雨水浸透柵設置費補助件数	32	目標値	38	41	44	47	50
	単位：基	実績値	34	73			
活動指標 雨水貯留槽設置費補助件数	1	目標値	4	6	7	9	10
	単位：件	実績値	5	3			
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

【令和4年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和4年度予算額	1,883千円	令和4年度決算額	1,463千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	・上赤生田学びの森整備事業 (四中の森下草刈り・葎焼き参加者数) 令和2年度：4回、141名 令和3年度：2回、64名 令和4年度：4回、40名 ・雨水浸透樹等設置補助事業 令和2年度：浸透樹 16件 67基、貯留槽 4件 4基 令和3年度：浸透樹 8件 34基、貯留槽 5件 5基 令和4年度：浸透樹 15件 73基、貯留槽 3件 3基			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進におい て不可欠な事業で ある	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与し ている事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有 無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られ ている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水 準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が 得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	雨水浸透樹設置費補助件数は年度目標を上回っている。 雨水の有効利用促進及び地下水保全のために、補助事業を継続する必要があると考える。					
課題	・上赤生田学びの森を整備する里山育成ボランティアの高齢化及び参加人数の減少。 ・日本遺産「里沼」の構成資産の一つとして認定されたことに伴う今後の整備方針。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)					
令和6年度 事業計画	・上赤生田学びの森整備 ・雨水浸透樹等設置補助					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	22	重要事業	総合戦略	担当部署	下水道課 工務係
款・項・目	事業名		当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)
4・3・3	地域し尿処理施設維持管理事業		26,521 千円	26,970 千円	25,021 千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶ 03_人と環境にやさしい快適な生活が送れるまちになる
施策の方向	

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	市民が良好な環境のなかで安全安心に生活できるまちづくりに貢献するため、分福地域し尿処理施設及び大島地域し尿処理施設の適切な維持管理に努める。
----------------	--

令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

- ①地域し尿処理施設（分福・大島）の維持管理
 汚水処理施設運転維持管理包括業務委託（地域し尿処理施設）を実施

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
事業 スケジュール	事業スケジュール	汚水処理施設運転維持管理包括業務委託（地域し尿処理施設）R2～6年度	汚水処理施設運転維持管理包括業務委託（地域し尿処理施設）R2～6年度	汚水処理施設運転維持管理包括業務委託（地域し尿処理施設）R2～6年度	
	事業費	26,970	26,970	26,970	
	財源	国庫	0	0	0
		県費	0	0	0
		市債	0	0	0
その他		26,970	26,970	26,970	
	一般財源	0	0	0	

【関連する指標】

活動指標	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	分福地域し尿処理施設 放流水質BOD (≦基準値20mg/L)	1.3 単位：mg/L	目標値	18以下	18以下	18以下	18以下	18以下
			実績値	2.2	1.5			
活動指標	大島地域し尿処理施設 放流水質BOD (≦基準値20mg/L)	6.6 単位：mg/L	目標値	18以下	18以下	18以下	18以下	18以下
			実績値	3.0	3.8			
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

【令和4年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和4年度予算額	26,970千円	令和4年度決算額	25,021千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年		委託料	工事請負費	
	令和2年度	19,918千円	4,026千円	
	令和3年度	20,026千円	1,001千円	
	令和4年度	19,942千円	2,486千円	
	R4：汚水処理施設運転維持管理包括業務委託（地域し尿処理施設）等			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A			
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている
評価根拠	地域し尿処理施設は、周辺の住民にとって必要不可欠な存在であり、今後も適切に維持管理を行い、存続させる必要がある。施設の運転維持管理業務については、水質管理センター等と一体的に包括業務委託を実施している。（令和2年度から6年度までの5か年間）			
課題	施設の老朽化が著しいことから、補修箇所の調査検討を行い、更新計画に従い適切な機器更新を行う必要がある。			
【Action】 今後の方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）			
	・施設の更新計画に従い、機器の更新や老朽化対策に取り組む。 ・地域し尿処理施設の運転維持管理業務について、引き続き包括業務委託を実施していく。			
令和6年度事業計画	①地域し尿処理施設（分福・大島）の維持管理 汚水処理施設運転維持管理包括業務委託（地域し尿処理施設）			
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	※前年度比較
備考				

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	23	重要事業	総合戦略	担当部署	下水道課 工務係
款・項・目	事業名		当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)
下水道事業会計	管渠管理費 (公共)		17,370 千円	17,373 千円	11,380 千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶01_防災意識や危機対応力を高め、自助・共助・公助が一体となった災害に強いまちになる
	▶03_人と環境にやさしい快適な生活が送れるまちになる
施策の方向	

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	下水道管きよを市民が安全安心に利用できるよう、定期的な清掃業務や点検・補修といった維持管理に努める。
----------------	--

令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

①汚水管渠清掃
②下水道マンホール蓋等修繕
③雨水渠除草

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
事業 スケジュール		①汚水管渠清掃 ②下水道マンホール蓋等修繕 ③雨水渠除草	①汚水管渠清掃 ②下水道マンホール蓋等修繕 ③雨水渠除草	①汚水管渠清掃 ②下水道マンホール蓋等修繕 ③雨水渠除草	
	事業費	17,373	17,373	17,373	
	財源	国庫	0	0	0
		県費	0	0	0
市債		0	0	0	
その他		17,373	17,373	17,373	
	一般財源	0	0	0	

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	汚水管渠清掃延長	目標値	2,081	2,311	2,540	2,770	3,000
		実績値	2,523	2,339			
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

【令和4年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和4年度予算額	17,373千円	令和4年度決算額	11,380千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	委託料	修繕費		
	令和2年度	4,070千円	7,578千円	
	令和3年度	5,016千円	9,143千円	
	令和4年度	3,971千円	7,039千円	
	R4：汚水管清掃業務委託、雨水きよ除草業務委託、下水道マンホール蓋等修繕 等			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である <input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である <input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている <input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている <input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	管きよの維持管理は、汚水管きよ及び雨水きよの定期的な維持補修が必須であり、存続させる必要がある。
課題	下水管きよにゴミや土砂がたまり、汚水や雨水の流れを妨げたり、毎日の使用で傷みが出たりするため、定期的な清掃・点検・補修が必要である。
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)
	・定期的な点検を行い、清掃及び補修を行う。
令和6年度事業計画	①汚水管きよ清掃 ②下水道マンホール蓋等修繕 ③雨水きよ除草
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較
備考	

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	24	重要事業	総合戦略	担当部署	下水道課 工務係
款・項・目	事業名		当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)
下水道事業会計	ポンプ場管理費 (公共)		15,793 千円	6,201 千円	3,390 千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶01_防災意識や危機対応力を高め.自助・共助・公助が一体となった災害に強いまちになる
	▶03_人と環境にやさしい快適な生活が送れるまちになる
施策の方向	

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	尾曳污水中継ポンプ場、高根污水中継ポンプ場については、自然流下のため各ポンプ施設で高所に下水を汲み上げている。多々良沼雨水ポンプ場については、農繁期において多々良沼からの揚水、又大雨時に多々良沼への排水としての役割がある。
令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①汚水中継ポンプ場（尾曳・高根）の維持管理 高根・尾曳污水中継ポンプ場機器修繕	
②多々良沼雨水ポンプ場の維持管理	

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業 スケジュール		①汚水中継ポンプ場（尾曳・高根）の維持管理	①汚水中継ポンプ場（尾曳・高根）の維持管理	①汚水中継ポンプ場（尾曳・高根）の維持管理
		②多々良沼雨水ポンプ場の維持管理	②多々良沼雨水ポンプ場の維持管理	②多々良沼雨水ポンプ場の維持管理
事業費		6,201	6,201	6,201
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	6,201	6,201	6,201
一般財源		0	0	0

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
	単位：	目標値					
		実績値					
	単位：	目標値					
		実績値					
	単位：	目標値					
		実績値					
	単位：	目標値					
		実績値					

【令和4年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和4年度予算額	6,201千円	令和4年度決算額	3,390千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年		委託料	修繕費	
	令和2年度	1,166千円	3,410千円	
	令和3年度	1,166千円	5,027千円	
	令和4年度	1,166千円	一千円	
R4：多々良沼雨水ポンプ場維持管理業務委託 等 (尾曳・高根中継ポンプ場の運転管理は、水質管理センター包括業務委託に含む。)				

【事業の評価】

【Check】 指標評価	
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である <input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である <input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている <input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている <input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	下水を中継する施設、また雨水を揚水・排水する施設は、適切な汚水、雨水処理のために継続的に必要である。
課題	平成18年に供用開始された高根汚水中継ポンプ場は比較的修理や補修は少ないものの、昭和61年に供用開始された尾曳汚水中継ポンプ場については、施設の老朽化が課題となっている。
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)
	・定期的な点検を行い、清掃及び補修を行う。 ・尾曳・高根中継ポンプ場の運転維持管理業務について、引き続き包括業務委託を実施していく。
令和6年度事業計画	①汚水中継ポンプ場（尾曳・高根）の維持管理 汚水処理施設運転維持管理包括業務委託（公共下水道処理施設） ②多々良沼雨水ポンプ場の維持管理
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較
備考	

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	25	重要事業	総合戦略	担当部署	下水道課 工務係
款・項・目	事業名		当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)
下水道事業会計	処理場管理費 (公共・特定)		313,993 千円	331,201 千円	320,057 千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶ 03_人と環境にやさしい快適な生活が送れるまちになる
施策の方向	

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	公共下水道は住環境の改善、河川等の水質向上を担っており、市民が衛生的で快適な暮らしを実現するために欠かすことのできない施設であるため、適切な施設の維持管理に努める。 近藤処理区は工場排水を受け入れ近藤川へ放流するため、適切な施設の維持管理や工場排水の水質基準の監視に努める。
----------------	--

令和4年度事業計画 (主要な事業とその取組内容)

①水質管理センターの維持管理	
②近藤処理場の維持管理	
汚水処理施設運転維持管理包括業務委託 (公共下水道処理施設) を実施	

【事業スケジュール】

(単位：千円)

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
事業 スケジュール	事業	汚水処理施設運転維持管理包括業務委託 (公共下水道処理施設) R2 ~6年度	汚水処理施設運転維持管理包括業務委託 (公共下水道処理施設) R2 ~6年度	汚水処理施設運転維持管理包括業務委託 (公共下水道処理施設) R2 ~6年度	
	事業費	331,201	331,201	331,201	
	財源	国庫	0	0	0
		県費	0	0	0
		市債	0	0	0
その他		331,201	331,201	331,201	
	一般財源	0	0	0	

【関連する指標】

活動指標	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	水質管理センター放流水質BOD (≦基準値15mg/L)	3.2 単位：mg/L	目標値	13.5以下	13.5以下	13.5以下	13.5以下	13.5以下
			実績値	3.7	3.3			
活動指標	近藤処理場放流水質BOD (≦基準値15mg/L)	3.8 単位：mg/L	目標値	13.5以下	13.5以下	13.5以下	13.5以下	13.5以下
			実績値	5.2	3.4			
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

【令和4年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和4年度予算額	331,201千円	令和4年度決算額	320,057千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	処理場管理費（水質管理センター・近藤処理場） 委託料 修繕費			
	令和2年度	260,020千円	35,068千円	
	令和3年度	256,168千円	34,760千円	
	令和4年度	253,797千円	66,055千円	
R4：汚水処理施設運転維持管理包括業務委託（公共下水道処理施設）、 脱水ケーキ場外搬出、処分業務委託、水質管理センターNo1汚泥脱水機修繕 等				

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A			
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進におい て不可欠な事業で ある	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与し ている事業である
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られ ている
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水 準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が 得られている
評価根拠	水質管理センターは、公衆衛生を向上させ汚水を適切に処理する施設であるため、今後も適切に維持管理を行 い存続させる必要がある。 近藤処理場は、工場排水を受け入れ近藤川へ放流する施設であるため、適切な施設の維持管理や工場排水の水 質基準の監視を継続していく必要がある。			
課題	公共下水道が昭和49年、特定公共下水道が昭和44年に供用開始してから概ね50年が経過しており、老朽化する 施設の修繕費用の増大が課題である。また、河川の水質を向上するため、適切な下水処理場の運転を行って いく必要がある。			
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）			
	・耐用年数を超過した機器や設備等の改修及び修繕に取り組む。 ・水質管理センター及び近藤処理場の運転維持管理業務について、引き続き包括業務委託を実施していく。			
令和6年度 事業計画	①水質管理センターの維持管理 汚水処理施設運転維持管理包括業務委託（公共下水道処理施設） ②近藤処理場の維持管理 汚水処理施設運転維持管理包括業務委託（公共下水道処理施設）			
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較			
備考				

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	26	重要事業	総合戦略	担当部署	下水道課 管理係
款・項・目	事業名		当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)
下水道事業会計	総係費		32,444 千円	33,128 千円	32,071 千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶ 03_人と環境にやさしい快適な生活が送れるまちになる
施策の方向	

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	下水道事業の総係費 下水道法に基づく本市の処理区域内において、公共下水道の接続促進を図る。
----------------	--

令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

①水洗便所改造費補助金交付事業
公共下水道に接続するため、水洗便所に改造する工事を行う者に対して補助金を交付する。
(補助金額)

- ・ 供用開始日と公示された日から1年以内に公共下水道に接続した場合 30,000円
- ・ 供用開始日と公示された日から2年以内に公共下水道に接続した場合 20,000円
- ・ 供用開始日と公示された日から3年以内に公共下水道に接続した場合 10,000円

【事業スケジュール】

(単位：千円)

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
事業 スケジュール	①水洗便所改造費補助金交付事業 事業費 440千円	①水洗便所改造費補助金交付事業 事業費 440千円	①水洗便所改造費補助金交付事業 事業費 440千円	①水洗便所改造費補助金交付事業 事業費 440千円	
	事業費	33,128	33,128	33,128	
	財源	国庫	0	0	0
		県費	0	0	0
		市債	0	0	0
その他		33,128	33,128	33,128	
	一般財源	0	0	0	

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	水洗便所改造費補助金交付件数	2 目標値	4	5	6	7	8
		単位：件	10	5			
		目標値					
		単位：					
		目標値					
		単位：					
		目標値					
		単位：					

【令和4年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和4年度予算額	33,128 千円	令和4年度決算額	32,071 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	・水洗便所改造費補助 令和2年度： 8件 240千円 令和3年度： 10件 290千円 令和4年度： 5件 100千円			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の 必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進におい て不可欠な事業で ある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与し ている事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有 無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られ ている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水 準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が 得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	水洗便所改造費補助金は、令和3年度10件、令和4年度5件の実績があり、下水道の接続促進に一定の効果があると考えられる。					
課題	使用料収益の増加を図り事業の財源を確保するため、経常経費を一層削減し、下水道未接続者へ更なる接続促進を行っていくことが必要である。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)					
	・使用料収益増のため、引き続き下水道未接続者へ接続を促していく。					
令和6年度 事業計画	①水洗便所改造費補助金交付事業					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	27	重要事業	総合戦略	担当部署	下水道課 工務係
款・項・目	事業名		当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)
下水道事業会計	処理場管理費 (農集)		20,525 千円	24,013 千円	22,338 千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶03_人と環境にやさしい快適な生活が送れるまちになる
施策の方向	

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	農業用水の水質保全及び生活環境の向上のため、下早川田地区は平成11年、木戸地区は平成17年に供用開始。その後、農業振興課より維持管理の引継ぎを受ける。安定的な経営のため、供用促進と適切な施設の維持管理に努める。
----------------	---

令和4年度事業計画 (主要な事業とその取組内容)

①農業集落排水処理施設 (下早川田・木戸) の維持管理

汚水処理施設運転維持管理包括業務委託 (農業集落排水施設) を実施

【事業スケジュール】

(単位：千円)

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
事業 スケジュール	事業費	24,013	24,013	24,013	
	財源	国庫	0	0	0
		県費	0	0	0
		市債	0	0	0
		その他	9,818	9,818	9,818
	一般財源	14,195	14,195	14,195	

【関連する指標】

活動指標	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	下早川田地区農業集落排水施設 放流水質BOD (≦基準値20mg/L)	2.6 単位：mg/L	目標値	18以下	18以下	18以下	18以下	18以下
			実績値	4.2	3.6			
活動指標	木戸地区農業集落排水施設 放流水質BOD (≦基準値20mg/L)	1.6 単位：mg/L	目標値	18以下	18以下	18以下	18以下	18以下
			実績値	1.3	3.1			
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

【令和4年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和4年度予算額	24,013千円	令和4年度決算額	22,338千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年		委託料	修繕費	
	令和2年度	15,077千円	990千円	
	令和3年度	15,077千円	4,411千円	
	令和4年度	15,660千円	6,655千円	
	R4：汚水処理施設運転維持管理包括業務委託（農業集落排水施設）、木戸処理場スクリーンユニット修繕等			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A			
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある	
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある	
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある	
評価根拠	農業地域の住民の生活環境を保全するために、処理施設は引き続き必要である。 施設の運転維持管理業務については、水質管理センター等と一体的に包括業務委託を実施している。（令和2年度から6年度までの5か年間）			
課題	処理施設の運用から24年が経過しているため、ポンプ等の機械類のメンテナンス（交換）が、更新計画に基づいて必要である。			
【Action】 今後の方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）			
	・施設の更新計画に従い、機器の更新や老朽化対策に取り組む。 ・農業集落排水施設の運転維持管理業務について、引き続き包括業務委託を実施していく。			
令和6年度 事業計画	①農業集落排水処理施設（下早川田・木戸）の維持管理 汚水処理施設運転維持管理包括業務委託（農業集落排水施設）			
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較			
備考				

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	28	重要事業	○	総合戦略	○	担当部署	下水道課 工務係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)	
下水道事業会計	管渠整備費 (公共)			398,276 千円	475,565 千円	393,902 千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶01_防災意識や危機対応力を高め、自助・共助・公助が一体となった災害に強いまちになる
	▶03_人と環境にやさしい快適な生活が送れるまちになる
施策の方向	▶4_排水施設整備による被害防止
	▶5_公共下水道及びし尿処理施設の計画的な更新

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	衛生的で快適な生活環境の向上及び河川や沼の水質保全に寄与するため、汚水きよの整備を計画的に進める。また、発生が懸念される集中豪雨による浸水被害を防止するべく、雨水きよの整備を計画的に進め、安全安心なまちをつくる。
令和4年度事業計画 (主要な事業とその取組内容)	
管渠整備費 (公共) 【重要事業】	
①汚水渠の整備・更新	
②雨水きよの整備	

【事業スケジュール】

(単位：千円)

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業 スケジュール	管渠整備費 (公共) 【重】	管渠整備費 (公共) 【重】	管渠整備費 (公共) 【重】	管渠整備費 (公共) 【重】
	①汚水渠の整備・更新工事	①汚水渠の整備・更新工事	①汚水渠の整備・更新工事	①汚水渠の整備・更新工事
	②雨水きよの整備	②雨水きよの整備	②雨水きよの整備	②雨水きよの整備
事業費		475,565	475,565	475,565
財源	国庫	198,800	198,800	198,800
	県費	1,300	1,300	1,300
	市債	259,600	259,600	259,600
	その他	15,865	15,865	15,865
	一般財源	0	0	0

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標 公共下水道雨水渠の整備率	74.4	目標値	74.8	75.0	75.2	75.4	75.6
	単位：%	実績値	70.2	70.6			
総合計画指標 下水道水洗化率	89.6	目標値	90.2	90.5	90.8	91.1	91.4
	単位：%	実績値	90.8	91.0			
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

【令和4年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和4年度予算額	475,565千円	令和4年度決算額	393,902千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年		委託料	工事請負費	
	令和2年度	44,616千円	271,142千円	
	令和3年度	46,673千円	245,122千円	
	令和4年度	47,349千円	343,562千円	
	R4：汚水管きよ実施設計業務委託、汚水管築造工事、汚水幹線築造工事、雨水幹線築造工事 等			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	C					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進におい て不可欠な事業で ある	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与し ている事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有 無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られ ている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水 準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が 得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	未整備地区の整備が必要なうえ、今後は耐用年数（50年）を経過する管きよが急速に増加してくる。管きよの老朽化は社会的影響も大きいため、早急な対応が必要であり、管路ストックマネジメント計画に基づき調査、点検、改築事業を計画的に進める必要がある。					
課題	市民の日常生活や社会活動に重大な影響を及ぼす事故発生等を未然に防ぐため、調査、点検を実施し、予防保全型の計画的、効率的な維持管理を進めていく。施設の健全度により、多額の改築費が必要となってくる。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	・下水道管きよの整備及び下水道の維持・更新を効率的に推進していく。					
令和6年度 事業計画	①汚水きよの整備（分福地域し尿処理場の統廃合） ②雨水きよの整備					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	29	重要事業	総合戦略	担当部署	下水道課 工務係
款・項・目	事業名		当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)
下水道事業会計	処理場建設費 (公共・特定)		308,855 千円	197,881 千円	108,401 千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶03_人と環境にやさしい快適な生活が送れるまちになる
施策の方向	

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	公共が昭和49年、特定が昭和44年に供用を開始し、経年により老朽化している処理場施設の整備費（建設及び改築更新費）に関する経費。近年は、平成25年度に「館林市水質管理センター長寿命化計画」、平成29年度に「館林市ストックマネジメント計画」を策定し、順次改築更新事業を進めている。
----------------	---

令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

- ①水質管理センターの更新事業（中継ポンプ場含む）
・ストックマネジメント計画に基づく施設更新工事委託
- ②近藤処理場の更新事業

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業 スケジュール		①水質管理センターの更新事業 受変電設備等更新工事委託 ②近藤処理場の更新事業	①水質管理センターの更新事業 ②近藤処理場の更新事業	①水質管理センターの更新事業 ②近藤処理場の更新事業
	事業費	197,881	197,881	197,881
財源	国庫	94,000	94,000	94,000
	県費	0	0	0
	市債	59,400	59,400	59,400
	その他	44,481	44,481	44,481
	一般財源	0	0	0

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					

【令和4年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和4年度予算額	197,881千円	令和4年度決算額	108,401千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	(公共) 主な事業 水質管理センター放流水COD計更新工事 (令和3年度からの繰越) 施設工事委託 (日本下水道事業団) 令和2年度: 84,200千円 令和3年度: 283,690千円 令和4年度: 100,800千円 ・水質管理センター受変電設備等更新工事委託 (令和4年度～令和5年度) ・水質管理センター耐震実施計画作成委託 (令和4年度) (特定) 工事請負費 近藤処理場シアン攪拌機等更新工事 (令和3年度からの繰越) 近藤処理場薬品注入ポンプ更新工事 (令和4年度) 令和2年度: 9,020千円 令和3年度: 0千円 令和4年度: 2,981千円			

【事業の評価】

【Check】 指標評価						
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	水質管理センター等の改築更新工事は、施設のストックマネジメント計画を策定し、計画的に実施することで、適正な維持管理を行うことができる。					
課題	処理場 (公共・特定) の老朽化が著しく、更新費用も今後更に増加すると見込まれるため、国の交付金や地方債を活用し、財源を確保する必要がある。					
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)					
	・「館林市ストックマネジメント計画」に基づき、計画的に施設の更新、改築事業を進めていく。					
令和6年度事業計画	①水質管理センターの更新事業 (中継ポンプ場合含む) スtockマネジメント計画に基づく施設更新工事委託 ②近藤処理場の更新事業					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	30	重要事業	総合戦略	担当部署	下水道課 工務係
款・項・目	事業名		当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)
下水道事業会計	管渠・処理場建設費 (農集)		5,478 千円	6,809 千円	2,640 千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶03_人と環境にやさしい快適な生活が送れるまちになる
施策の方向	

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	農業用水の水質保全及び生活環境の向上のため、下早川田地区は平成11年、木戸地区は平成17年に供用開始。その後、農業振興課より維持管理の引継ぎを受ける。安定的な施設の維持管理のために施設の適切な更新工事を実施する。
----------------	--

令和4年度事業計画 (主要な事業とその取組内容)

①管渠整備費	・ 第1MP汚水ポンプ更新工事
②処理場建設費	・ 水中攪拌機等交換工事

【事業スケジュール】

(単位：千円)

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業 スケジュール	①管渠整備費 ・ ポンプ更新工事		①管渠整備費 ・ ポンプ更新工事	①管渠整備費 ・ ポンプ更新工事
	②処理場建設費 ・ 機器交換工事		②処理場建設費 ・ 機器交換工事	②処理場建設費 ・ 機器交換工事
事業費		6,809	6,809	6,809
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	6,809	6,809	6,809
	一般財源	0	0	0

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					

【令和4年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和4年度予算額	6,809千円	令和4年度決算額	2,640千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	工事請負費 令和2年度 4,499千円 令和3年度 4,455千円 令和4年度 2,640千円 R4：下早川田処理場自動微細目スクリーン等更新工事			

【事業の評価】

【Check】 指標評価				
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある	
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある	
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある	
評価根拠	農業地域の住民の生活環境を保全するために、処理施設は引き続き必要である。施設の更新を毎年計画的に実施することで、施設の適正な維持管理を行うことができる。			
課題	処理施設やマンホールポンプ等の機械類のメンテナンス（交換）が更新計画に基づいて必要である。			
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）			
	・施設の更新計画に従い、機器の更新や老朽化対策に取り組む。			
令和6年度事業計画	①管渠整備費 ポンプ更新工事 ②処理場建設費 機器交換工事			
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較			
備考				

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	31	重要事業	総合戦略	担当部署	地球環境課 資源対策係
款・項・目	事業名		当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)
4・3・1	ごみ収集処理事業		370,757千円	377,255千円	373,195千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶ 04_ごみを減らして資源を生かす循環型のまちになる
施策の方向	▶ 1_ごみを減らす(産まない)仕組みづくり

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	家庭ごみを安定的・効率的に収集し、できる限り資源化することにより、生活環境の保全を図り、持続可能な循環型社会を形成する。
----------------	--

令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

①ごみ収集処理事業

- ・ごみ収集業務
ごみステーションに出されるごみ（燃やせるごみ、燃やせないごみ・資源物、プラスチック）や公民館等で回収される蛍光管を収集し、ごみ処理施設まで運搬する。
- ・資源化等業務
ごみステーションで回収するガラスびん、缶、ペットボトルを資源化する。
- ・施設保守管理業務
最終処分場の埋立地や浸出水処理施設の維持管理を行う。
- ・ごみステーション管理システム導入業務委託【新規】
問合せ対応の効率化、配置の適正化を図るため、ごみステーション管理システムを導入する。

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業 スケジュール		①ごみ収集処理事業 ・ごみ収集業務 ・資源化等業務 ・施設保守管理業務 ・ごみステーション管理システムの導入【新】	①ごみ収集処理事業 ・ごみ収集業務 ・資源化等業務 ・施設保守管理業務	①ごみ収集処理事業 ・ごみ収集業務 ・資源化等業務 ・施設保守管理業務
	事業費	377,255	375,550	375,550
財源	国庫	432	432	432
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	23,924	22,219	22,219
	一般財源	352,899	352,899	352,899

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標 【市民アンケート】ごみ処理・リサイクル (収集・処理、再利用など)の満足度	49.4	目標値	-	-	53.4	-	55.4
	単位：%	実績値	-	-			
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					

【令和4年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和4年度予算額	379,102 千円	令和4年度決算額	373,195 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<ul style="list-style-type: none"> ・ ごみ収集業務 (委託収集量) <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度: 可燃ごみ 15,231 t、資源物・不燃ごみ 3,403 t 令和3年度: 可燃ごみ 14,670 t、資源物・不燃ごみ 3,151 t 令和4年度: 可燃ごみ 14,295 t、資源物・不燃ごみ 2,965 t ・ 資源化等業務 (資源化率※) <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度: 69.1% (2,350 t) 令和3年度: 67.1% (2,114 t) 令和4年度: 69.5% (2,062 t) ※資源物・不燃ごみに占める紙類、びん、かん、ペットボトル、リユース品の割合 ・ 施設保守管理業務 (最終処分場水質分析) <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度: 基準超過なし 令和3年度: 基準超過あり 令和4年度: 基準超過あり ・ ごみステーション管理システム導入業務【新規】 <ul style="list-style-type: none"> ごみステーション管理システムによる問い合わせ等への対応の迅速化、ステーション配置の適正化に取り組んだ。 			

【事業の評価】

【Check】 指標評価						
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	ごみ処理事業を効率的・安定的に行うため、ごみの収集運搬及び資源化等事業の委託業務について適正に執行し監督した。 ごみステーション管理システムの導入により、住民からの問い合わせ等に迅速に対応することができた。					
課題	宅地分譲や集合住宅の新設に伴いごみステーションの数が増え、収集効率が低下している。 違反ごみの排出が無くならない。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)					
【Action】 今後の方向性・内容	ごみステーション管理システムの運用により、ステーション配置の適正化を図り、収集効率を高める必要がある。 違反ごみの排出防止のため、行政区役員等と連携し地域に根差した排出ルール等について住民への周知徹底を図る必要がある。					
令和6年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ ごみ収集業務 ごみステーションに出されるごみ(燃やせるごみ、燃やせないごみ・資源物、プラスチック)や公民館等で回収される蛍光管を収集し、ごみ処理施設まで運搬する。 ・ 資源化等業務 ごみステーションで回収するガラスびん、缶、ペットボトルを資源化する。 ・ 施設保守管理業務 最終処分場の埋立地や浸出水処理施設の維持管理を行う。 					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	32	重要事業	○	総合戦略	担当部署	地球環境課	資源対策係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)	
4・3・1	ごみ減量化事業			14,420千円	17,619千円	14,128千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶ 04_ごみを減らして資源を生かす循環型のまちになる
施策の方向	▶ 2_地域と行政が一体となった普及啓発

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	ごみの排出量が多いため、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の普及啓発により、ごみの減量化、分別の徹底、適正処分に対する意識醸成・行動変容を促進し、持続可能な循環型社会を形成する。
----------------	--

令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

- ①ごみ減量化事業【重要事業】
- ・ごみ減量化器具購入費助成金
生ごみ処理槽、生ごみ処理容器、生ごみ処理機の購入費を一部助成する。
 - ・再生資源集団回収事業助成金
集団回収を行う団体の活動を支援する。
 - ・廃棄物減量等推進員
地域での3Rの普及啓発を図るため、区長等に委嘱し、活動を支援する。
 - ・廃棄物減量等推進審議会の運営
市民や事業者で構成される審議会で3R施策・計画を審議する。
 - ・ごみ処理基本計画作成業務委託【新規】
ごみの減量化目標のほか、市や市民、事業者の取組などについて定める次期ごみ処理基本計画を策定するため、廃棄物減量等推進審議会に諮る計画案を作成する。

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業 スケジュール	①ごみ減量化事業【重】	①ごみ減量化事業【重】	①ごみ減量化事業【重】	①ごみ減量化事業【重】
	・ごみ減量化器具購入費助成金	・ごみ減量化器具購入費助成金	・ごみ減量化器具購入費助成金	・ごみ減量化器具購入費助成金
	・再生資源集団回収事業助成金	・再生資源集団回収事業助成金	・再生資源集団回収事業助成金	・再生資源集団回収事業助成金
	・廃棄物減量等推進員	・廃棄物減量等推進員	・廃棄物減量等推進員	・廃棄物減量等推進員
	・廃棄物減量等推進審議会	・廃棄物減量等推進審議会	・廃棄物減量等推進審議会	・廃棄物減量等推進審議会
【新】	【新】			
事業費		17,619	12,328	12,328
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	6,584	6,584	6,584
	一般財源	11,035	5,744	5,744

【関連する指標】

総合計画指標	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
1人1日当たりのごみ排出量		944	目標値	795	756	748	740	732
		g/人・日	実績値	935	930			
	単位：		目標値					
			実績値					
	単位：		目標値					
			実績値					
	単位：		目標値					
			実績値					

【令和4年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和4年度予算額	17,619千円	令和4年度決算額	14,128千円
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ減量化器具購入費助成金（基数：処理槽／処理容器／処理機） 令和2年度：12基／2基／5基 令和3年度：13基／4基／5基 令和4年度：14基／7基／2基 ・再生資源集団回収助成金（組合実績） 令和2年度：322件、610,436kg 令和3年度：315件、555,374kg 令和4年度：361件、670,094kg ・廃棄物減量等推進員会議 令和2年度：新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 令和3年度：53名（新型コロナウイルス感染拡大防止のため一部中止） 令和4年度：165名（新型コロナウイルス感染拡大防止のため一部中止） ※令和2年度まで年一回大会開催 ・廃棄物減量等推進審議会 令和2年度：1回、令和3年度：1回、令和4年度：2回 <p>※館林市第六次総合計画及び第三次館林市環境基本計画に基づき、廃棄物の適正処理及び循環型社会の形成を推進するための個別計画として、新たに令和14年度を計画目標年度とした「館林市ごみ処理基本計画」を令和5年2月に策定した。 計画における1人1日当たりのごみ排出量の目標値は、現状に即して見直しを行い、令和7年度896g、令和14年度804gとしている。</p>		

【事業の評価】

【Check】 指標評価	D
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である <input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である <input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている <input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている <input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	1人1日当たりのごみ排出量について、目標値には届かなかったが、現状値及び前年度実績を下回った。ごみ減量化器具購入費助成金、再生資源集団回収助成金は、前年実績を上回った。廃棄物減量等推進員会議を8回開催（66行政区165人参加）し、委員参加型のワークショップにより課題解決に向けた情報の共有を図ることができた。
課題	それぞれの行政区においてごみ問題に対する意識や活動に温度差がある。減量及び資源化率を高めるため、新たな資源化を検討する必要がある。減量化に加え、食品ロスやプラスチックごみの削減が国際的な課題となっている。
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）
	更に減量化を推進するため、ごみ減量化器具の対象となる新機種の検討や再生資源集団回収助成金の単価見直しの検討をする。 国の方針や県の取組と整合を図りながら、より一層の減量化に向けた取組を推進していく。
令和6年度事業計画	①ごみ減量化事業【重要事業】 ・ごみ減量化器具購入費助成金 生ごみ処理槽、生ごみ処理容器、生ごみ処理機の購入費を一部助成する。 ・再生資源集団回収事業助成金 集団回収を行う団体の活動を支援する。 ・廃棄物減量等推進員 地域での3Rの普及啓発を図るため、区長等に委嘱し、活動を支援する。 ・廃棄物減量等推進審議会の運営 市民や事業者で構成される審議会での3R施策・計画を審議する。 ・ごみゼロ館の運営 3Rに関する情報の発信及びリユース品オークションの実施
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較
備考	

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	33	重要事業	総合戦略	担当部署	地球環境課 資源対策係	
款・項・目	事業名			当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)
4・3・1	館林衛生施設組合負担金			837,450千円	872,605千円	872,486千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶ 04_ごみを減らして資源を生かす循環型のまちになる
施策の方向	▶ 3_効率的なごみ処理施設の運営

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	広域ごみ処理施設の安定的・効率的な運営、リサイクルの推進により、ダイオキシン、二酸化炭素、最終処分などの環境負荷の低減を図る。
----------------	---

令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

①広域ごみ処理施設の運営	<ul style="list-style-type: none"> ・長期包括運営委託 令和元年度～令和15年度（15年間） たてばやしクリーンセンター いたくらリサイクルセンター めいわエコパーク たてばやしストックヤード
②施設整備の地方債の償還	<ul style="list-style-type: none"> ・長期債償還 平成26年度～令和14年度（19年間） たてばやしクリーンセンター いたくらリサイクルセンター めいわエコパーク

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業 スケジュール	①広域ごみ処理施設の運営 ・長期包括運営委託		①広域ごみ処理施設の運営 ・長期包括運営委託	①広域ごみ処理施設の運営 ・長期包括運営委託
	②施設整備の地方債の償還 ・長期債償還		②施設整備の地方債の償還 ・長期債償還	②施設整備の地方債の償還 ・長期債償還
事業費		872,605	872,605	872,605
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	872,605	872,605	872,605

【関連する指標】

総合計画指標	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
	リサイクル率	20.8	目標値	31.8	33.2	34.2	35.1	36.1
		単位：%	実績値	18.9	18.6			
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

【令和4年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和4年度予算額	872,605千円	令和4年度決算額	872,486千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ処理分（本市からの搬入量） 令和2年度：23,482 t（1市2町の79.8%） 令和3年度：22,933 t（1市2町の79.3%） 令和4年度：22,598 t（1市2町の78.7%） ・ごみ処理施設建設分 平成29年度 たてばやしクリーンセンターの稼働開始（完成は平成28年度） いたくらリサイクルセンターの稼働開始（完成は平成28年度） めいわエコパークの完成・埋立開始 <p>※館林市第六次総合計画及び第三次館林市環境基本計画に基づき、廃棄物の適正処理及び循環型社会の形成を推進するための個別計画として、新たに令和14年度を計画目標年度とした「館林市ごみ処理基本計画」を令和5年2月に策定した。</p> <p>計画における1人1日当たりのごみ排出量の目標値は、現状に即して見直しを行い、令和7年度896g、令和14年度804gとしている。</p>			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	D					
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	一般廃棄物処理広域化実施計画及び循環型社会形成推進地域計画に基づく事業であり、今後も組合によるごみ処理施設の運営は不可欠な事業である					
課題	1市2町（館林市、板倉町、明和町）のごみ処理を行う館林衛生施設組合は、施設運営を長期包括委託により実施しており、民間のノウハウを活用した効率的な運営に努めているが、住民対応やコスト意識に対する取組について、負担金を支出する立場として運営状況を注視していく必要がある。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
【Action】 今後の方向性・内容	構成団体として、処理状況や施設運営の改善について、協働・連携して取り組む。 <ul style="list-style-type: none"> ・住民対応力の向上 ・ごみ処理手数料の滞納対策 ・処理施設としての3Rや適正処理の普及啓発 ・処理方法の調査研究 					
令和6年度事業計画	①広域ごみ処理施設の運営 ・長期包括運営委託 令和元年度～令和15年度（15年間） たてばやしクリーンセンター／いたくらリサイクルセンター／めいわエコパーク たてばやしストックヤード ②施設整備の地方債の償還 ・長期債償還 平成26年度～令和14年度（19年間） たてばやしクリーンセンター／いたくらリサイクルセンター／めいわエコパーク					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	34	重要事業	総合戦略	担当部署	地球環境課	環境政策係
款・項・目	事業名		当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)	
4・3・2	館林衛生施設組合負担金 (し尿処理)		123,214 千円	193,988千円	158,064千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶03_人と環境にやさしい快適な生活が送れるまちになる
施策の方向	▶5_公共下水道及びし尿処理施設の計画的な更新

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	1市3町（館林市・板倉町・明和町・千代田町）が共同でし尿処理を行うことにより、東毛地区におけるし尿処理施設の合理化を図るもの。
----------------	---

令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

・運営費（し尿及び浄化槽汚泥の処理）負担金

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業 スケジュール		運営費（し尿及び浄化槽汚泥の処理）負担金支出	運営費（し尿及び浄化槽汚泥の処理）負担金支出	運営費（し尿及び浄化槽汚泥の処理）負担金支出
	事業費	193,988	193,988	193,988
財源	国庫			
	県費			
	市債			
	その他			
	一般財源	193,988	193,988	193,988

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					

【令和4年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和4年度予算額	193,988千円	令和4年度決算額	158,064千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	館林衛生施設組合負担金（し尿分） 令和2年度 146,689千円 令和3年度 120,740千円 令和4年度 158,064千円			

【事業の評価】

【Check】 指標評価				
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている
評価根拠	し尿及び浄化槽の汚泥について、引き続き安定的に処理する必要がある。			
課題	施設（館林環境センター）を長寿命化するため、令和3年度～令和4年度の2か年で基幹的設備改良事業を行った。今後は長寿命化総合計画（施設保全計画）に基づき、施設・設備・危機の適切な維持管理・補修等の整備を行い、施設全体の延命化を図っていくことから、そのための事業費が必要となる。			
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）			
	継続実施していく必要がある。			
令和6年度事業計画	運営費（し尿及び浄化槽汚泥の処理）負担金			
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較			
備考				